

R 2 営繕

中吉野職員住宅 徳・中吉野

B棟外壁改修他工事

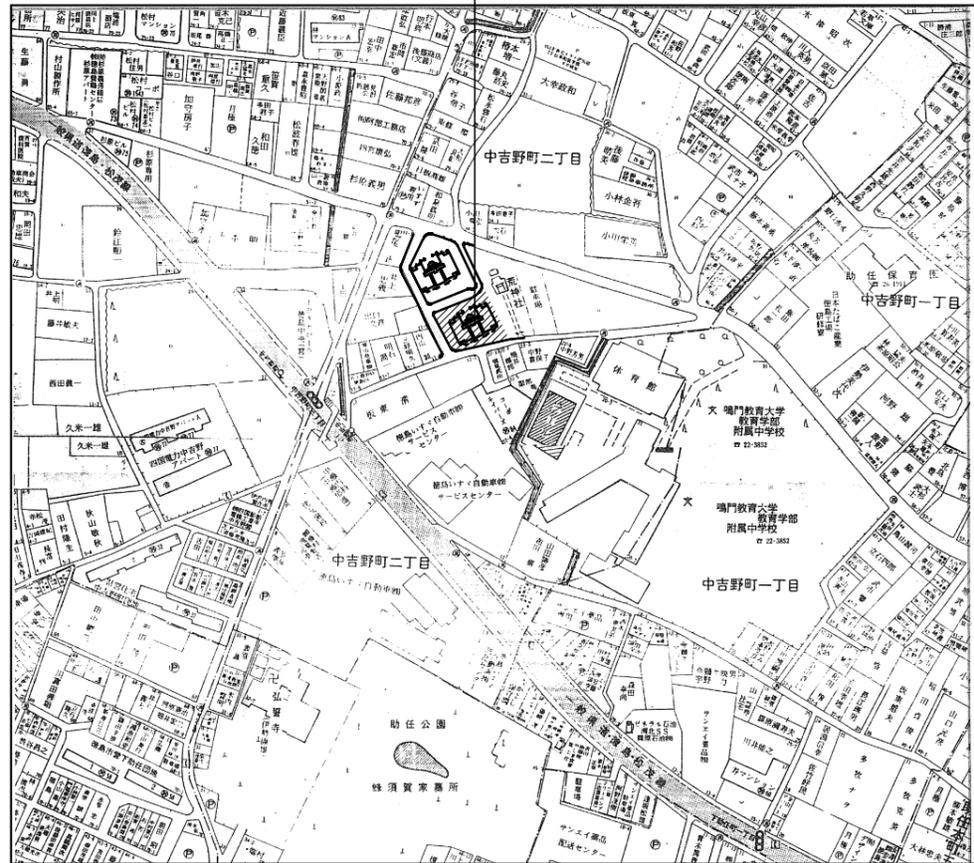
図面番号	図 面 名
A-01	改修特記仕様書 1
A-02	改修特記仕様書 2
A-03	改修特記仕様書 3
A-04	付近見取図・配置図兼仮設参考図
A-05	平面図 1 (1・2階)
A-06	平面図 2 (3・4階)
A-07	立面図 1 (北・西)
A-08	立面図 2 (南・東)
A-09	矩計図 1
A-10	矩計図 2
A-11	天井伏図 1 (1・2階)
A-12	天井伏図 2 (3・4階)
A-13	屋根伏図
A-14	建具配置図・建具表

課 長	副 課 長	課長補佐	主査兼係長	係 長	課 員	担 当

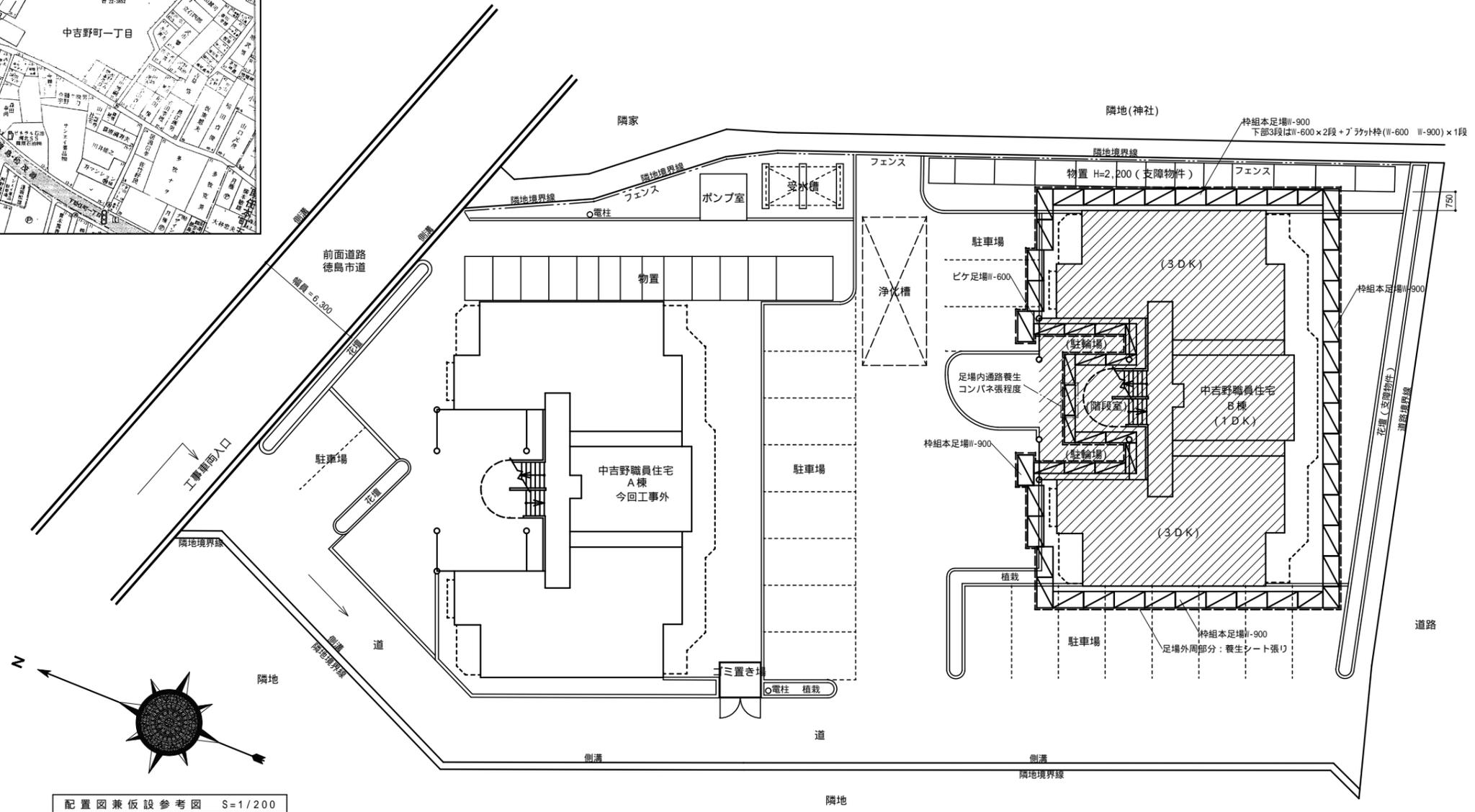
. 工 事 概 要		項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項			
1. 工事名称	R 2 営繕 中吉野職員住宅 徳・中吉野 B棟外壁改修他工事			<p>工事現場の安全衛生管理については、労働安全衛生法等関係法令等に従って行うこと。</p> <p>工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、建設工事公害災害防止対策要綱(平成5年1月12日 建設省建経発第1号)、建設副産物適正処理推進要綱(平成5年1月12日 建設省建経発第3号)その他関係法令に従い適切に処理すること。</p> <p>受注者は、工事の施工箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物について工事(仮囲い等仮設設置を含む)着手までに調査を行い、「支障物件確認書」を監督員に提出し、監督員の確認を受けてから工事着手すること。</p> <p>地下埋設物への影響が予想される場所では、施工に先立ち、原則として試験を行い、当該埋設物の種類、位置(平面・深さ)、規格、構造等を確認しなければならない。</p> <p>受注者は、工事箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物に対し、支障を及ぼさないよう措置を施さなければならない。万一、損傷を与えた場合は、ただちに監督員に報告するとともに、施設の運営に支障がないよう受注者の負担でその都度補修又は補償すること。</p> <p>受注者は、重量が100kg以上のものを貨物自動車に積み作業(ロープ掛けの作業及びシート掛けの作業を含む。)又は貨物自動車から卸す作業(ロープ解きの作業及びシート外しの作業を含む。)を行うときは、当指揮する者を定め、監督員に当該作業を告しなければならない。</p> <p>受注者は、機械等を貨物自動車に積み込む作業又は貨物自動車から卸す作業を行う場合は、当該作業を指揮する者を定め、指揮者の合図により行わなければならない。また、作業状況について、写真等の資料を整理及び保管し、監督員の請求があったときは、直ちに提示しなければならない。</p> <p>受注者は、輸送経路等において上空施設への接触事故を防止するため、重機回送時の高さ、移動式クレーンのブームの格納、ダンプトラックの架台の下ろし等について、走行前に確認の作業員により確認しなければならない。</p> <p>受注者は、移動式クレーンを使用する場合は、上空施設への接触事故防止装置(ブームの格納忘れを防止(警報)する装置、ブームの高さを制限する装置等)付きの車両を原則使用しなければならない。なお、令和2年度末までは経過措置期間とするが、この期間においても接触事故防止機能付きの車両を使用するよう努めるものとする。</p> <p>休日、夜間に作業を行う時は、事前に「休日・夜間作業届」を監督員に提出すること。</p> <p>受注者は、工事用車両による土砂、工事用資材、機械等の輸送を伴う場合は、関係機関と打合せを行い、交通安全に関する担当者、輸送経路、輸送期間、輸送方法、輸送担当者、交通誘導員の配置、標識、安全施設等の設置場所その他安全輸送上の事項について計画を立て、災害の防止を図らなければならない。特に、輸送経路にある既設構造物に対して損害を与えるおそれがある場合は、当該物件およびその位置と必要な措置について工事着手前に監督員に報告しなければならない。</p> <p>受注者は、工事期間中安全監視を行い、工事区域及びその周辺の監視あるいは連絡を行い安全を確保するとともに工事現場における盗難防止の観点から、資機材の保管状況等についても併せて確認すること。</p> <p>また、監督員から「資機材保管計画書」(自由様式)の提出を求められた場合には、速やかに提出すること。</p>				<p>処分業者以外の処分場で処分を行う場合は、理由書を監督員に提出すること。</p> <p>また、コンクリート・アスファルト類の搬出先については、中間処理施設のみとする。木材については、50kmの範囲内にある木材再資源化施設への搬出を原則とする。</p> <p>(4) 受注者は、建設副産物が搬出される工事にあたっては、建設発生土は建設発生土搬出調査、産業廃棄物は産業廃棄物管理票(マニフェスト)により、適正に処理されているか確認するとともに、監督員に建設発生土搬出調査(様式3)を提出しなければならない。なお、監督員等の指示があった場合は直ちに産業廃棄物管理票の写しを提示しなければならない。</p> <p>受注者は、資源の有効な利用の促進に関する法律(以下「資源有効利用促進法」という。)に基づく建設業に属する事業を行う者の再生資源の利用に関する判断の基準となるべき事項を定める省令(H3.10.25建設省令第19号)第8条で規定される工事、又は建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)施行令第2条で規定される工事(以下「一定規模以上の工事」という。)において、コンクリート(二次製品を含む。)、土砂、砕石、加熱アスファルト混合物又は木材を工事現場に搬入する場合には、(一財)日本建設情報総合センターの建設副産物情報交換システム(以下「C O B R I S」という。))により再生資源利用計画書を作成し、監督員の確認を受けなければならない。</p> <p>受注者は、資源有効利用促進法に基づく建設業に属する事業者が行う者の指定副産物に係る再生資源の利用の促進に関する判断の基準となるべき事項を定める省令(H3.10.25建設省令第20号)第7条で規定される工事において、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト、コンクリート塊、建設汚泥又は建設混合廃棄物を工事現場から搬出する場合には、C O B R I Sにより再生資源利用促進計画書を作成し、監督員の確認を受けなければならない。</p> <p>受注者は、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成した場合には、工事完了後速やかにC O B R I Sにより再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を作成し、監督員に提出しなければならない。</p> <p>受注者は、C O B R I Sの入力において、資源の供給元及び搬出する副産物の搬出先について、その施設名、施設の種類及び住所を必ず入力しなければならない。ただし、パーヅン材を使用する生コンクリート及び購入土を除くものとする。</p>			
. 建 築 工 事 仕 様 書		項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項			
1 章 一 般 共 通 事 項	1. 適用基準等	<p>図及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官房官庁営繕部監修の下記による。</p> <p>公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版(以下「改標仕」という。)</p> <p>公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成31年版)(以下「標仕」という。)</p> <p>公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成31年版)</p> <p>公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成31年版)</p> <p>本工事のうち電気工事及び管工事について、下請業者を使用する場合は、工事の施工に十分な能力と経験を有したものを選定すること。</p> <p>設計図書の優先順位は、次の順とする。</p> <p>(1) 質問回答書(2)から(5)に対するもの</p> <p>(2) 補足説明書</p> <p>(3) 特記仕様書</p> <p>(4) 図面</p> <p>(5) 公共建築改修工事標準仕様書(平成31年版)等</p> <p>施工条件は次による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工程については、施設管理者と協議の上決定すること。 ・その他の詳細な施工条件については、実施工程表及び総合施工計画書の作成時に施設管理者と協議の上決定し、適宜相互に日程の調整及び確認を行う。 <p>本工事で使用する建設機械は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定(国土交通省告示 平成13年4月9日改正)」に基づき指定された建設機械を使用するものとする。</p> <p>現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の全景及び型番等、同規程 に基づき指定された建設機械であることが分かる写真を監督員に提出するものとする。</p> <p>ただし、同規程に記載されていない機種、規格の建設機械により施工する場合はこの限りでない。</p> <p>なお、同規程に基づき指定された建設機械を現場に供給するのが著しく困難な場合は、監督員と協議する。</p> <p>ただし、騒音規制法、徳島県公害防止条例等の関係法令を遵守するものとする。</p> <p>本工事に使用する土工機械は、「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3.10.8 建設省経機発第249号最終改正 平成14.4.1 国総施第225号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械とする。ただし、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明により評価された排出ガス浄化装置を装着することで排出ガス対策型建設機械と同等とみなすが、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の全景及び型番等が分かる写真を監督員に提出するものとする。</p> <p>本工事で使用する建設機械(労働安全衛生法により特定自主検査が義務づけられている建設機械)は、1年以内毎に1回特定自主検査を実施済み機械を使用し、その検査証明書(検査記録表)のコピーを使用工種の施工計画書に添付し提出すること。</p> <p>交通誘導警備員については、警備業法に基づく警備員とし、図示する場所に 0 日間配置すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号により規定された交通誘導警備業務を行う場所に一級又は二級の検定合格警備員の配置が(義務付けられている・義務 付けられない)。 ・警備員は、延 0 人(昼 0人、夜 0人：うち検定合格警備員 0人)を見込んでいる。 ・警備業法を遵守するとともに、受注者は交通誘導警備員の配置計画書及び合格証明書の写し等資格要件の確認ができる資料を事前に監督員へ提出すること。 ・配置された検定合格警備員は、業務に従事している間は合格証明書を携帯し、かつ、監督員等の請求があるときは、これを提示すること。 ・受注者は、発注者が行う交通誘導警備員勤務実績調査の実施に協力しなければならない。また、対象工事の一部について下請負契約を締結する場合は、当該下請負工事の受注者(当該下請負工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。)も同様の義務を負う旨を定めなければならない。 ・受注者は、「交通誘導警備員勤務実績報告書」を作成し、勤務実績が確認できる資料(勤務伝票の写し)とともに、1月毎に監督員へ1部提出しなければならない。 <p>受注者は、本工事の一部を下請に付する場合には、徳島県内に主たる営業所を有するものの中から優先して選定するように努めなければならない。なお、請負対象額(設計金額)が1億円以上の工事については、徳島県内に主たる営業所を有するもの以外と下請契約する場合に、県内業者を選定しない理由を記した理由書を事前に監督員に提出しなければならない。</p>		4. 工事現場管理		<p>5. 施工調査</p> <p>本工事の着手時に、給排水、ガス管、地下埋設物等の調査を行う。調査期間は 1 週間とする。</p> <p>切り直し時期については、 項とする。</p> <p>解体前に大気汚染防止法に基づくアスベスト等の特定建築材料に該当するものが使用されていないか調査し、あれば監督員の指示に従うこと。</p> <p>解体前に、照明器具及びトランス内連相コンデンサのPCBの有無を調査し、有れば監督員の指示に従うこと。</p>		6. 材料・製品等		<p>本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の(1)から(3)の事項を満たすものとする。</p> <p>(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。</p> <p>(2) 法令等で定める許可、認定又は免許を取得していること。</p> <p>(3) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。</p> <p>なお、「評価名簿による」と記載されていないものは、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「建築材料等評価名簿(最新版)」記載品を指すものとする。</p> <p>受注者は、本工事で使用する建築材料・製品等(以下「建材等」という)の発注の際には、発注前に、「生コンクリート使用承諾書」、「材料使用承諾書」、「木材使用承諾書」を監督員へ提出しなければならない。</p> <p>受注者は、工事完了後、請負金額が500万円以上の工事において、「木材使用実績報告書」(電子データ)、「建設資材使用実績報告書」(電子データ)を監督員に提出しなければならない。</p> <p>県産木材の使用</p> <p>(1) 受注者は、工事目的物及び指定仮設で木材を使用する場合並びにコンクリート打設用型枠を使用する場合、原則として理由書を使用しなければならない。ただし、特段の理由がある場合はこの限りでない。</p> <p>(2) 「県産木材」とは、「徳島県内の森林で育成した木材」のことであり、「徳島県内の森林で育成した木材」とはこのことである。</p> <p>徳島県木材認証制度により、県内産であることが「産地認証」された木材</p> <p>以外において、徳島県内の森林で育成したことが確認された木材</p> <p>(3) 受注者は、請負金額が500万円以上の工事で発生し、県産木材以外の木材を使用する場合は、県産木材を使用できない理由を記載した書面及び確認資料を事前に監督員に提出し、承諾を得なければならない。</p> <p>(4) 受注者は、県産木材を使用する前に、徳島県木材認証機構から発行される「産地認証」証明書の写しにより県産木材であることを示す書類を監督員へ提出しなければならない。</p> <p>(5) 県内の森林から直接調達するなど、前項により難しい場合は木材調達先の産地及び相手の氏名等を記入した書類を監督員へ提出しなければならない。</p> <p>製材等(製材、集成材、合板、単板積層材)、フローリング、再生木質ボード(パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板)については、合法性に係る確認(「産地認証」及び「品質認証」を含む。)が行われたものを使用する。ただし、機能上、需給など正当な理由により確保が困難であり、使用できない場合には監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p> <p>また、それらの木質又は紙の原料となる原木についての合法性に係る確認は、林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン(平成18年2月15日)」に準拠して行うものとし、監督員に合法証明書を提出するものとする。ただし、平成18年4月1日より前に伐採業者等と契約を締結している原木に係る合法性の確認については、平成18年4月1日の時点で原料・製品等を保管している者が証明書に平成18年4月1日より前に契約を締結していることを記載した場合には、上記ガイドラインに定める合法な木材であることの証明は不要とする。</p> <p>改標仕に記載されていない特別な材料の仕様・工法は、監督員の承諾を受けて、当該製品の仕様及び指定工法による、県内産資材の使用</p> <p>(1) 受注者は、木材以外の建設資材を使用する工事を施工する場合、原則として県内産資材を使用しなければならない。ただし、特段の理由がある場合はこの限りでない。なお、WTO対象工事については、県内産資材を優先して使用するよう努めるものとする。</p> <p>(2) 受注者は、請負金額が500万円以上の工事について、県内産資材以外の資材を使用する場合は、県内産資材を使用できない理由を記載した書面及び確認資料を事前に監督員に提出し、承諾を得なければならない。</p> <p>(3) 受注者は、工事完了後、請負金額が500万円以上の工事において、「建設資材使用実績報告書」を監督員に提出しなければならない。</p>	
	2. 工事関係図書	<p>施工に先立ち、実施工程表、工事の総合計画をまとめた総合施工計画書及び工種別施工計画書を作成し、監督員に提出すること。</p> <p>上記の施工計画書には、「地下埋設物等の近接作業に関する事項」を設けること。</p> <p>施工図、現寸図、見本等は、監督員の指示により速やかに監督員に提出すること。</p>									
3. 安全衛生管理	<p>工事関係図書及び監督員から指示された事項等については、施工に携わる下請負人も十分周知徹底すること。</p> <p>工事現場における現場代理人、監理技術者、主任技術者の確認のため名札を着用すること。</p> <p>名札には現場代理人、監理技術者、主任技術者の別、氏名、会社名、工事名を記載し、顔写真を添付すること。</p>			<p>上記以外の許可業者の処分場で処分しても差し支えないが、増額変更の対象とはしない。また、この場合、処分単価の見積書の提出を求め、減額変更を行うことがある。</p> <p>なお、上記の処分場が徳島県優良産業廃棄物処理業者(以下、「優良産廃処分業者」という。)に認定されているとき、処分場を変更する場合は原則として優良産廃処分業者に変更すること。ただし、諸般の事情により優良産廃</p>				<p>県内産資材(次のいずれかに該当するもの)</p> <p>材料の主な部分を県内産出の原材料を使用している製品</p> <p>徳島県内の工場で加工、製造された製品</p> <p>注1 部材、部品が県外製品であっても、県内の工場で加工、製造した製品(二次製品)であれば県内産資材として取り扱う。</p> <p>注2 県内企業が県外に立地した工場(自社工場)で加工、製造した製品も県内産資材として取り扱う。</p> <p>注3 公共建築工事標準仕様書その関連する示方書等の基準を満たす資材、製品であること。</p>			
		徳島県県土整備部営繕課		<p>工事名 R 2 営繕 中吉野職員住宅 徳・中吉野 B棟外壁改修他工事</p> <p>図面番号 A-01</p>		<p>図面番号 A-01</p> <p>縮尺</p>		<p>一級建築士事務所 創 和 建 築 設 計</p> <p>徳島県知事登録 第61073号 Tel: 088-642-5062</p> <p>一級建築士大臣登録 第90948号 鎌田 好康 Fax: 088-642-4257</p>			
				改修特記仕様書 1							

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																																																																																				
3章 防水改修工事	<p>機械式固定工法の場合は、引抜き試験の結果に基づき、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。</p> <p>建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速$V_0 = (36) \text{ m/s}$ 地表相度区分 (I・II・(III)・IV) 絶縁用シートは、発泡ポリエチレンシートとする。 プライマー、増し張り用シート、成型役物、接着剤、仕上塗料、シール材、固定金具、絶縁用テープ等は、ルーフィングシート製造所の指定する製品とする。 固定金具 材質 () 端部; アルミアングル () 形状寸法 (L-30*10)</p> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>S-F2</td> </tr> <tr> <td>下地処理</td> <td>標仕9.4.4(a)又は改標仕3.5.4による。入隅は直角、出隅は面取りとし、小石等は完全に除去する。目地部に幅50mm絶縁用テープ張り</td> </tr> <tr> <td>平場接着法</td> <td>接着剤塗布</td> </tr> <tr> <td>断熱材(断熱工法)</td> <td>下地に断熱材を隙間無く張付、ローラー等で密着した後ルーフィングを張り付ける</td> </tr> <tr> <td>増張</td> <td>立上り部等 出隅入隅部 ルーフィングシート 施工後成形物張付け</td> </tr> <tr> <td>重部</td> <td>平場 縦横40mm以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>立上りと平場 40mm以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>接合部 接着剤</td> </tr> <tr> <td></td> <td>接合端部 紐状又は液状シール</td> </tr> <tr> <td></td> <td>立上り・立下り部の 末端部処理 端部にテープ状シール張りの上ルーフィングシート張付け、末端部は押さえ金物で固定し、シール材を充填する。</td> </tr> </table> <p>特記仕様書、改標仕及び標仕以外は、主材料製造所の仕様による。</p> <p>脱気装置の仕様： ルーフドレインの材質規格：階段室屋上は鋳鉄製縦型ドレイン 75、共用廊下は鋳鉄製横引きドレイン 75</p> <p>工法：L4X 種別：X-2(密着工法) 塗膜を形成する材料は、JIS A 6021の規格品とする。 プライマー、層間接着用プライマー、補強布、接着剤、通気緩衝シート、シーリング材、仕上げ塗材等は主材料製造所の指定製品とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>L4X</td> <td>X-2</td> <td>屋外廊下・階段と各階の工の手摺先端 階段室屋上と駐輪場屋上の工の先端</td> <td></td> <td>補強布張・密着工法</td> </tr> </table> <p>特記仕様書、改標仕及び標仕以外は、主材料製造所の仕様による。</p> <p>シーリング材は、JIS A 5758の規格品とする。 プライマーは、被着体及びシーリングの種類により使い分けること。 監督員に、シーリング材の有効期限が切れていないことの確認を受けること。 シーリング面への仕上塗材仕上げ等を(行わない)。 外部に面するシーリング材は、施工に先立ち(脱気・接着性試験・引張接着性試験)を行う。</p> <p>種類及び施工箇所</p> <table border="1"> <tr> <th>記号</th> <th>材質</th> <th>既存</th> <th>施工箇所</th> <th>改修工法</th> <th>寸法</th> <th>接着試験</th> </tr> <tr> <td>MS-2</td> <td>変成シリコーン</td> <td>撤去</td> <td>建具周囲・換気フード シート防水端部押さえ金物</td> <td>再充填工法</td> <td>10*10 15*10</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>MS-2</td> <td>変成シリコーン</td> <td></td> <td>4Fのトキヤップ・換気フード 屋根裏通気口 避難ルーフ</td> <td>充填工法</td> <td>10*10</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>PS-2</td> <td>ポリアリアルサイド系</td> <td>撤去</td> <td>外壁目地</td> <td>再充填工法</td> <td>20*15</td> <td>有り</td> </tr> </table> <p>9. とい ルーフドレインの取付けは図示する。</p> <p>10. 防水保証 防水工事後は、メーカー、元請業者、下請業者の3者連名による(3・5・7・(10)年間の防水工事事能保証書を提出すること。</p>	区分	S-F2	下地処理	標仕9.4.4(a)又は改標仕3.5.4による。入隅は直角、出隅は面取りとし、小石等は完全に除去する。目地部に幅50mm絶縁用テープ張り	平場接着法	接着剤塗布	断熱材(断熱工法)	下地に断熱材を隙間無く張付、ローラー等で密着した後ルーフィングを張り付ける	増張	立上り部等 出隅入隅部 ルーフィングシート 施工後成形物張付け	重部	平場 縦横40mm以上		立上りと平場 40mm以上		接合部 接着剤		接合端部 紐状又は液状シール		立上り・立下り部の 末端部処理 端部にテープ状シール張りの上ルーフィングシート張付け、末端部は押さえ金物で固定し、シール材を充填する。	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	備考	L4X	X-2	屋外廊下・階段と各階の工の手摺先端 階段室屋上と駐輪場屋上の工の先端		補強布張・密着工法	記号	材質	既存	施工箇所	改修工法	寸法	接着試験	MS-2	変成シリコーン	撤去	建具周囲・換気フード シート防水端部押さえ金物	再充填工法	10*10 15*10	有り	MS-2	変成シリコーン		4Fのトキヤップ・換気フード 屋根裏通気口 避難ルーフ	充填工法	10*10	有り	PS-2	ポリアリアルサイド系	撤去	外壁目地	再充填工法	20*15	有り	<p>モルタル塗仕上げ外壁</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>ひび割れ部</th> <th>欠損部</th> <th>浮き部</th> </tr> <tr> <td>樹脂注入工法 (0.2mm以上1.0mm以下)</td> <td>工法：自動式低圧球状樹脂注入工法 注入量：25 ml/本 注入間隔：200～300mm エポキシ樹脂：製造所の仕様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Uカットシール材 充填工法 (1.0mmを超える)</td> <td>材料：2成分形樹脂系 シーリング材 + ポリマーセメント樹脂 シーリング材：改標仕表3.7.1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>シール工法 (0.2mm未満)</td> <td>材料：N字状球状樹脂+イボ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>充填工法 (0.25m2未満)</td> <td></td> <td>材料：ポリマーセメント樹脂</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 (0.25m2未満)</td> <td></td> <td></td> <td>IR樹脂：JIS A 6024 低粘度形又は中粘度 充填量：25 ml/本 ピン本数 一般：16 本/m² 指定：25 本/m²</td> </tr> <tr> <td>アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法 (0.25m2以上)</td> <td></td> <td></td> <td>IR樹脂：JIS A 6024 低粘度形又は中粘度 注入量：25 ml/本 注入口 一般：12 個/m² 指定：20 個/m² ピン本数 一般：13 本/m² 指定：20 本/m²</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂及びポリマーセメントモルタルの製造所： 評価名簿による。</p> <p>タイル張り仕上げ外壁</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>ひび割れ部</th> <th>欠損部</th> <th>浮き部</th> </tr> <tr> <td>樹脂注入工法 (0.2mm以上1.0mm以下)</td> <td>工法：自動式低圧球状樹脂注入工法 注入量：25 ml/本 注入間隔：200～300mm エポキシ樹脂：製造所の仕様</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Uカットシール材 充填工法 (1.0mmを超える)</td> <td>材料：2成分形樹脂系 シーリング材 + ポリマーセメント樹脂 シーリング材：改標仕表3.7.1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイル部分 張替工法</td> <td></td> <td>接着剤：</td> <td>接着剤：</td> </tr> <tr> <td>タイル張替工法</td> <td></td> <td>工法：</td> <td>接着剤：</td> </tr> <tr> <td>アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td></td> <td></td> <td>IR樹脂：JIS A 6024 充填量：25 ml/本 ピン本数 一般：16 本/m² 指定：25 本/m²</td> </tr> <tr> <td>注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td></td> <td></td> <td>IR樹脂：JIS A 6024 充填量：25 ml/本 ピン本数 一般：16 本/m² 指定：25 本/m²</td> </tr> <tr> <td>注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル 固定工法</td> <td></td> <td></td> <td>IR樹脂：JIS A 6024 充填量：25 ml/本 ピン本数 一般：16 本/m² 指定：25 本/m²</td> </tr> <tr> <td>目地ひび割れ部 改修工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>伸縮調整目地 改修工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>接着剤、エポキシ樹脂及びポリマーセメントモルタルの製造所： 評価名簿による。</p> <p>仕上げの模様、色及びつやは、見本帳又は見本塗り板を監督員に提出して、承諾をうけること。 下地処理(下地のひび割れ部の補修)は、2.外壁改修工法の種類と材料による。</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>既存塗膜の除去及び下地調整の工法</th> <th>下地仕上</th> <th>下地調整</th> <th>仕上形状</th> <th>工法</th> <th>防火認定</th> <th>上塗材</th> </tr> <tr> <td>補層 仕上塗材 JIS A 6909</td> <td>改標仕表4.6.5 水洗い工法</td> <td>金網</td> <td>下地調整材 JIS A 6916 C-1</td> <td>ゆず肌</td> <td>ローラー</td> <td>基材同等</td> <td>つや有り</td> </tr> </table> <p>注 1. 水洗いの水圧は試験施工を行い、監督員の承諾を受けること。 注 2. 外壁既存仕上げ吹付け部の劣化部分については慎重に除去すること。 注 3. 屋根面水洗いとするが、屋根面の状態により加圧力は調整すること。</p> <p>3. 塗り仕上げ 外壁改修工事</p>	工法	ひび割れ部	欠損部	浮き部	樹脂注入工法 (0.2mm以上1.0mm以下)	工法：自動式低圧球状樹脂注入工法 注入量：25 ml/本 注入間隔：200～300mm エポキシ樹脂：製造所の仕様			Uカットシール材 充填工法 (1.0mmを超える)	材料：2成分形樹脂系 シーリング材 + ポリマーセメント樹脂 シーリング材：改標仕表3.7.1			シール工法 (0.2mm未満)	材料：N字状球状樹脂+イボ			充填工法 (0.25m2未満)		材料：ポリマーセメント樹脂		アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 (0.25m2未満)			IR樹脂：JIS A 6024 低粘度形又は中粘度 充填量：25 ml/本 ピン本数 一般：16 本/m ² 指定：25 本/m ²	アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法 (0.25m2以上)			IR樹脂：JIS A 6024 低粘度形又は中粘度 注入量：25 ml/本 注入口 一般：12 個/m ² 指定：20 個/m ² ピン本数 一般：13 本/m ² 指定：20 本/m ²	工法	ひび割れ部	欠損部	浮き部	樹脂注入工法 (0.2mm以上1.0mm以下)	工法：自動式低圧球状樹脂注入工法 注入量：25 ml/本 注入間隔：200～300mm エポキシ樹脂：製造所の仕様			Uカットシール材 充填工法 (1.0mmを超える)	材料：2成分形樹脂系 シーリング材 + ポリマーセメント樹脂 シーリング材：改標仕表3.7.1			タイル部分 張替工法		接着剤：	接着剤：	タイル張替工法		工法：	接着剤：	アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法			IR樹脂：JIS A 6024 充填量：25 ml/本 ピン本数 一般：16 本/m ² 指定：25 本/m ²	注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法			IR樹脂：JIS A 6024 充填量：25 ml/本 ピン本数 一般：16 本/m ² 指定：25 本/m ²	注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル 固定工法			IR樹脂：JIS A 6024 充填量：25 ml/本 ピン本数 一般：16 本/m ² 指定：25 本/m ²	目地ひび割れ部 改修工法				伸縮調整目地 改修工法				種類	既存塗膜の除去及び下地調整の工法	下地仕上	下地調整	仕上形状	工法	防火認定	上塗材	補層 仕上塗材 JIS A 6909	改標仕表4.6.5 水洗い工法	金網	下地調整材 JIS A 6916 C-1	ゆず肌	ローラー	基材同等	つや有り	<p>5章 塗装改修工事</p> <p>1. 一般事項 防火材料又は建築基準法に基づく指定又は認定を受けたものとする。 塗料はホルマリン不検出のもの及び有機溶剤の含有量が少ないものとする。 ユリア樹脂等(ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤)を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量は、F とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F の塗料を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種別</th> <th>下地調整</th> <th>さび止め塗料</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>鋼製建具面</td> <td>B種</td> <td>R B種</td> <td>C種</td> <td>鋼製建具(外部のみ)</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>B種</td> <td>R B種</td> <td>C種</td> <td>電灯盤 検針盤 電話端子盤 汎用機器収納箱</td> </tr> </table> <p>2. 合成樹脂調合 ペイント塗り(SOP)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種別</th> <th>下地調整</th> <th>上塗りの等級</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td>C-1種</td> <td>R B種</td> <td>3級</td> <td>壁種・横種 JISK5658</td> </tr> <tr> <td>押出成型型枠外面</td> <td>C-2種</td> <td>R C種</td> <td>3級</td> <td>開て板 JISK5658</td> </tr> </table> <p>3. 耐候性塗料塗り(DP)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種別</th> <th>下地調整</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>モルタル</td> <td>B種</td> <td>R B種</td> <td>基礎巾木(西・北面) JISK5663</td> </tr> </table> <p>3. 耐候性塗料塗り(DP)</p>	区分	種別	下地調整	さび止め塗料	備考	鋼製建具面	B種	R B種	C種	鋼製建具(外部のみ)	鉄鋼面	B種	R B種	C種	電灯盤 検針盤 電話端子盤 汎用機器収納箱	区分	種別	下地調整	上塗りの等級	備考	コンクリート	C-1種	R B種	3級	壁種・横種 JISK5658	押出成型型枠外面	C-2種	R C種	3級	開て板 JISK5658	区分	種別	下地調整	備考	モルタル	B種	R B種	基礎巾木(西・北面) JISK5663	<p>6章 ユニット・その他工事</p> <p>1. 換気扇フード 新設換気扇フード 樹脂製 寸法300*150程度 既存換気扇適合サイズ 300*150程度 既存レンジフード タカスタンダード機「V T-60」に合わせる フード周囲シーリング 変性シリコン2成分 周囲ビス留め</p> <p>2. ルーフドレン オープン廊下 横引きドレン 75全て撤去 ・新設ドレン 鋳鉄製 横引き 一般型 後付け工法用 ・モルタル防水用 呼称75 階段室屋上、駐輪場屋根 縦引きドレン 75全て撤去 ・新設ドレン 鋳鉄製 縦引き 打込み型 後付け工法用 ・シート防水用 呼称75</p> <p>3. 避難ステッカー 新設避難ステッカー(図示 各階の隔て板両面) ・アルミ箔ステッカー サイズ:90*130 ・材質:アルミ箔 仕上げ:シルク印刷 色:下地イエロー・文字黒</p>	<p>7章 環境配慮(グリーン)改修工事</p> <p>1. 一般事項 工事の着手前に、外壁塗料調査をおこなうこと。 ・分析によるアスベスト含有の調査 (JIS A 1481-1) ・報告書を(3)部作成し監督員に提出すること。 ・事前調査結果は改標仕9.1.2(6)により見やすい場所に掲示すること。</p> <p>アスベストの含有が確認された場合は、監督員と協議の上、関係法令・都道府県の条例等を遵守すること。</p>
区分	S-F2																																																																																																																																																																																								
下地処理	標仕9.4.4(a)又は改標仕3.5.4による。入隅は直角、出隅は面取りとし、小石等は完全に除去する。目地部に幅50mm絶縁用テープ張り																																																																																																																																																																																								
平場接着法	接着剤塗布																																																																																																																																																																																								
断熱材(断熱工法)	下地に断熱材を隙間無く張付、ローラー等で密着した後ルーフィングを張り付ける																																																																																																																																																																																								
増張	立上り部等 出隅入隅部 ルーフィングシート 施工後成形物張付け																																																																																																																																																																																								
重部	平場 縦横40mm以上																																																																																																																																																																																								
	立上りと平場 40mm以上																																																																																																																																																																																								
	接合部 接着剤																																																																																																																																																																																								
	接合端部 紐状又は液状シール																																																																																																																																																																																								
	立上り・立下り部の 末端部処理 端部にテープ状シール張りの上ルーフィングシート張付け、末端部は押さえ金物で固定し、シール材を充填する。																																																																																																																																																																																								
工法	種別	施工箇所	仕上塗料	備考																																																																																																																																																																																					
L4X	X-2	屋外廊下・階段と各階の工の手摺先端 階段室屋上と駐輪場屋上の工の先端		補強布張・密着工法																																																																																																																																																																																					
記号	材質	既存	施工箇所	改修工法	寸法	接着試験																																																																																																																																																																																			
MS-2	変成シリコーン	撤去	建具周囲・換気フード シート防水端部押さえ金物	再充填工法	10*10 15*10	有り																																																																																																																																																																																			
MS-2	変成シリコーン		4Fのトキヤップ・換気フード 屋根裏通気口 避難ルーフ	充填工法	10*10	有り																																																																																																																																																																																			
PS-2	ポリアリアルサイド系	撤去	外壁目地	再充填工法	20*15	有り																																																																																																																																																																																			
工法	ひび割れ部	欠損部	浮き部																																																																																																																																																																																						
樹脂注入工法 (0.2mm以上1.0mm以下)	工法：自動式低圧球状樹脂注入工法 注入量：25 ml/本 注入間隔：200～300mm エポキシ樹脂：製造所の仕様																																																																																																																																																																																								
Uカットシール材 充填工法 (1.0mmを超える)	材料：2成分形樹脂系 シーリング材 + ポリマーセメント樹脂 シーリング材：改標仕表3.7.1																																																																																																																																																																																								
シール工法 (0.2mm未満)	材料：N字状球状樹脂+イボ																																																																																																																																																																																								
充填工法 (0.25m2未満)		材料：ポリマーセメント樹脂																																																																																																																																																																																							
アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 (0.25m2未満)			IR樹脂：JIS A 6024 低粘度形又は中粘度 充填量：25 ml/本 ピン本数 一般：16 本/m ² 指定：25 本/m ²																																																																																																																																																																																						
アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法 (0.25m2以上)			IR樹脂：JIS A 6024 低粘度形又は中粘度 注入量：25 ml/本 注入口 一般：12 個/m ² 指定：20 個/m ² ピン本数 一般：13 本/m ² 指定：20 本/m ²																																																																																																																																																																																						
工法	ひび割れ部	欠損部	浮き部																																																																																																																																																																																						
樹脂注入工法 (0.2mm以上1.0mm以下)	工法：自動式低圧球状樹脂注入工法 注入量：25 ml/本 注入間隔：200～300mm エポキシ樹脂：製造所の仕様																																																																																																																																																																																								
Uカットシール材 充填工法 (1.0mmを超える)	材料：2成分形樹脂系 シーリング材 + ポリマーセメント樹脂 シーリング材：改標仕表3.7.1																																																																																																																																																																																								
タイル部分 張替工法		接着剤：	接着剤：																																																																																																																																																																																						
タイル張替工法		工法：	接着剤：																																																																																																																																																																																						
アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法			IR樹脂：JIS A 6024 充填量：25 ml/本 ピン本数 一般：16 本/m ² 指定：25 本/m ²																																																																																																																																																																																						
注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法			IR樹脂：JIS A 6024 充填量：25 ml/本 ピン本数 一般：16 本/m ² 指定：25 本/m ²																																																																																																																																																																																						
注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル 固定工法			IR樹脂：JIS A 6024 充填量：25 ml/本 ピン本数 一般：16 本/m ² 指定：25 本/m ²																																																																																																																																																																																						
目地ひび割れ部 改修工法																																																																																																																																																																																									
伸縮調整目地 改修工法																																																																																																																																																																																									
種類	既存塗膜の除去及び下地調整の工法	下地仕上	下地調整	仕上形状	工法	防火認定	上塗材																																																																																																																																																																																		
補層 仕上塗材 JIS A 6909	改標仕表4.6.5 水洗い工法	金網	下地調整材 JIS A 6916 C-1	ゆず肌	ローラー	基材同等	つや有り																																																																																																																																																																																		
区分	種別	下地調整	さび止め塗料	備考																																																																																																																																																																																					
鋼製建具面	B種	R B種	C種	鋼製建具(外部のみ)																																																																																																																																																																																					
鉄鋼面	B種	R B種	C種	電灯盤 検針盤 電話端子盤 汎用機器収納箱																																																																																																																																																																																					
区分	種別	下地調整	上塗りの等級	備考																																																																																																																																																																																					
コンクリート	C-1種	R B種	3級	壁種・横種 JISK5658																																																																																																																																																																																					
押出成型型枠外面	C-2種	R C種	3級	開て板 JISK5658																																																																																																																																																																																					
区分	種別	下地調整	備考																																																																																																																																																																																						
モルタル	B種	R B種	基礎巾木(西・北面) JISK5663																																																																																																																																																																																						
4章 外壁改修工事	<p>1. 外壁改修の施工数量 調査方法 当工事の積算計上数量は、1階又は2階部分の調査数量を調査し、全体数量との面積比率により算定した数量の70%を計上している。 施工数量は、次の調査により監督員が承諾し確定した数量に基づき設計変更を行う。(設計変更単価は、単価で行う) 外部足場設置後、施工数量調査を行う。 調査に先立ち、調査内容及び方法等の計画書を作成し監督員の承諾を得ること。また、調査方法等で専門知識が必要な場合は、各工法・材料の専門技術者(製造所等)に依頼すること。</p> <p>2. 外壁改修工法の種類 及び材料</p> <p>コンクリート打ち放し仕上げ外壁</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>ひび割れ部</th> <th>欠損部</th> </tr> <tr> <td>樹脂注入工法</td> <td>工法：自動式低圧球状樹脂注入工法 注入量：25 ml/本 注入間隔：200～300mm エポキシ樹脂：製造所の仕様</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Uカットシール材 充填工法</td> <td>材料：2成分形樹脂系 シーリング材 + ポリマーセメント樹脂 シーリング材：改標仕表3.7.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シール工法</td> <td>材料：N字状球状樹脂+イボ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td></td> <td>鉄筋露出部・深い欠損30mm超 材料：IR樹脂系樹脂 鉄筋防錆：改標仕表4.3.3(b) 鉄筋コンクリート用防錆剤等塗付</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂及びポリマーセメントモルタルの製造所： 評価名簿による。</p>	工法	ひび割れ部	欠損部	樹脂注入工法	工法：自動式低圧球状樹脂注入工法 注入量：25 ml/本 注入間隔：200～300mm エポキシ樹脂：製造所の仕様		Uカットシール材 充填工法	材料：2成分形樹脂系 シーリング材 + ポリマーセメント樹脂 シーリング材：改標仕表3.7.1		シール工法	材料：N字状球状樹脂+イボ		充填工法		鉄筋露出部・深い欠損30mm超 材料：IR樹脂系樹脂 鉄筋防錆：改標仕表4.3.3(b) 鉄筋コンクリート用防錆剤等塗付	<p>徳島県土木整備部 管轄課</p> <p>工事名 R2 岩越 中吉野職員住宅 徳・中吉野 B棟外壁改修他工事</p> <p>図面番号 A-03</p> <p>一級建築士事務所 創和建築設計 徳島県知事登録 第61073号 一級建築士大臣登録 第90948号 鎌田 好康</p> <p>徳島市国府町花園76-3 Tel : 088-642-5062 Fax : 088-642-4257</p>																																																																																																																																																																								
工法	ひび割れ部	欠損部																																																																																																																																																																																							
樹脂注入工法	工法：自動式低圧球状樹脂注入工法 注入量：25 ml/本 注入間隔：200～300mm エポキシ樹脂：製造所の仕様																																																																																																																																																																																								
Uカットシール材 充填工法	材料：2成分形樹脂系 シーリング材 + ポリマーセメント樹脂 シーリング材：改標仕表3.7.1																																																																																																																																																																																								
シール工法	材料：N字状球状樹脂+イボ																																																																																																																																																																																								
充填工法		鉄筋露出部・深い欠損30mm超 材料：IR樹脂系樹脂 鉄筋防錆：改標仕表4.3.3(b) 鉄筋コンクリート用防錆剤等塗付																																																																																																																																																																																							
				図面名 改修特記仕様書 3	縮尺																																																																																																																																																																																				

今回工事場所：中吉野職員住宅B棟
徳島市中吉野町2丁目



付近見取図

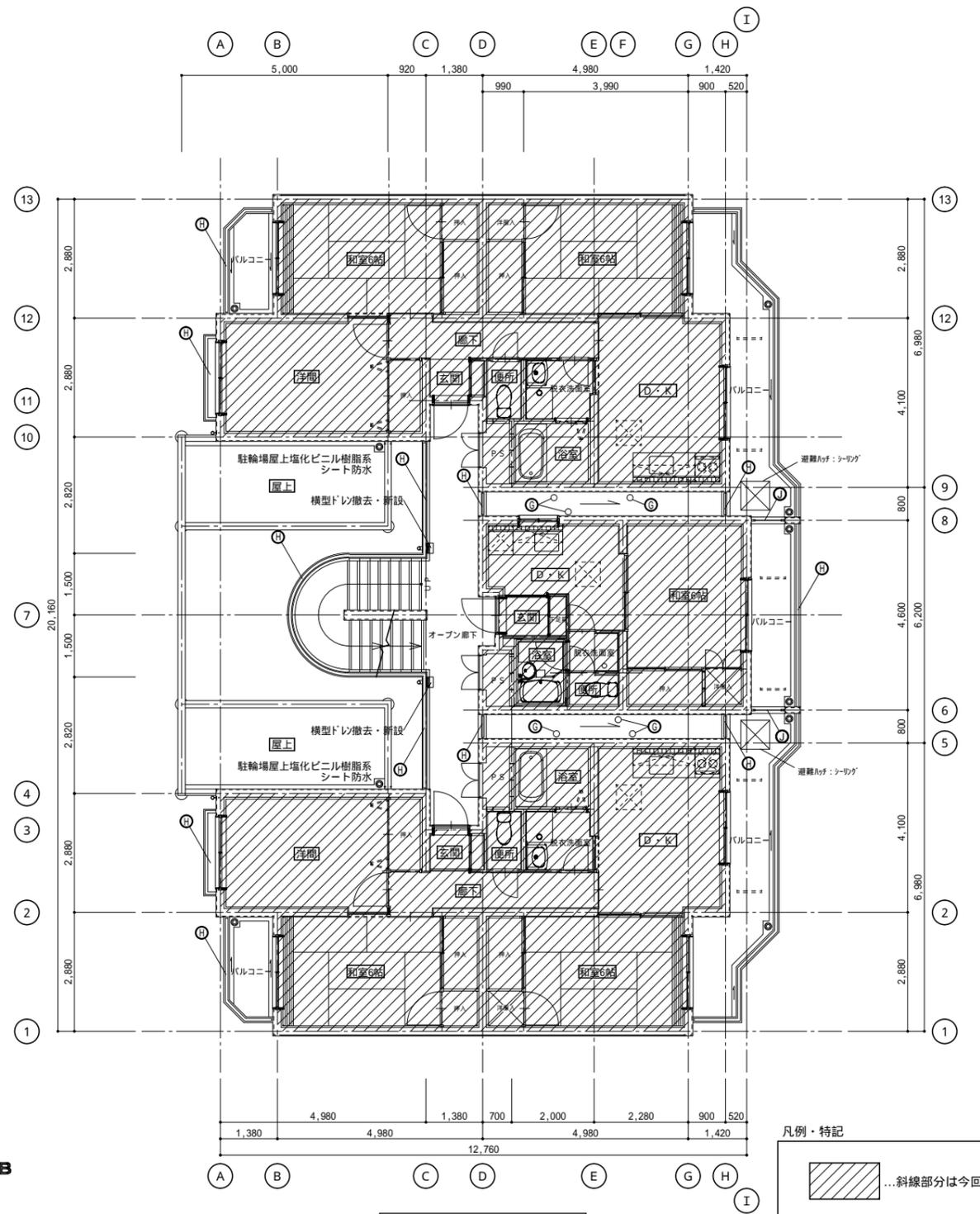
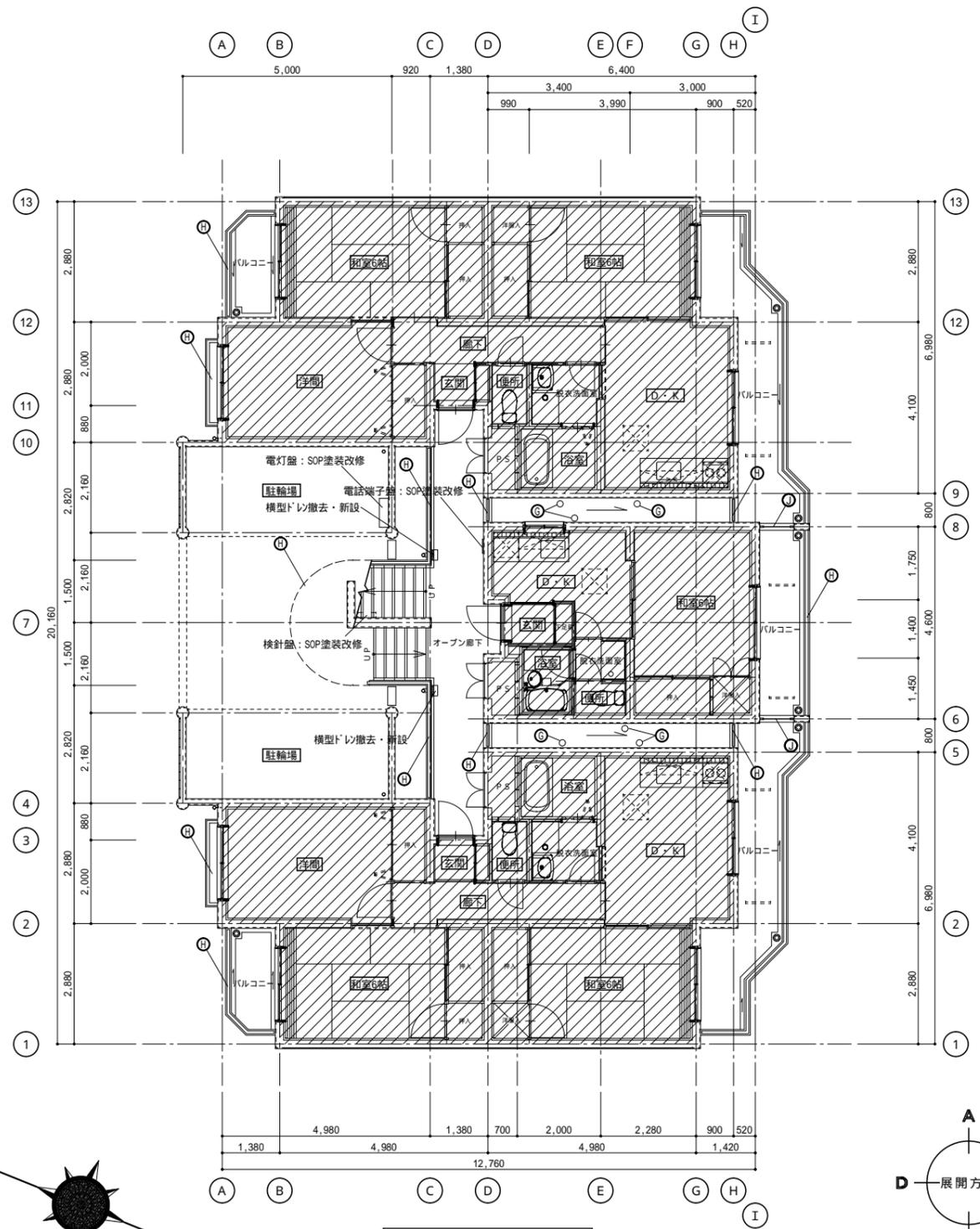


- 凡例
- ... 桝組本足場W-900手すり先行方式を示す。
 - ... くさび緊結式足場を示す。(階段室周囲足場)
 - ... 仮設足場外周 養生シート張り防災 類を示す。
 - ... 斜線範囲は今回工事範囲を示す。

配置図兼仮設参考図 S=1/200

<p>1 道路と仮設足場の位置を現場で確認した後施工すること。</p> <p>2 支障物件2件あり 建物南東花壇、建物東物置。</p>	<p>徳島県県土整備部管轄課</p>	<p>工事名 R2営繕 中吉野職員住宅 徳・中吉野 B棟外壁改修他工事</p>	<p>図面番号 A-04</p>	<p>一級建築士事務所 創和建築設計 徳島県知事登録 第61073号 一級建築士大臣登録 第90948号 鎌田 好康</p>
		<p>図面名 付近見取図・配置図兼仮設参考図</p>	<p>縮尺 1/200</p>	<p>徳島市国府町花園76-3 Tel : 088-642-5062 Fax : 088-642-4257</p>

既設面		改修概要		工事概要		改修概要	
①	屋根：アスベスト瓦（モラル程度）屋根下地：アスファルトフィング 22kg、スチール厚40mm	水洗いのみ（破損が大きい箇所は現場監督員、管理者で協議すること）	水洗い工法・既存仕上げ面 破れ、膨れ部分は除去後水洗いの上、下地調整材で平滑に仕上げ、防水系複層塗材E0-塗り	凡例	現況破損部分 状況	鉄筋防錆塗、充填工法 エポキシ樹脂モルタル充填	改修概要
②	外壁：コケシ打ち放しの上吹き付けタイル	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修 西・北面のみEP塗り	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修	欠損（鉄筋露出部）	鉄筋防錆塗、充填工法 エポキシ樹脂モルタル充填	充填工法 ポリマーセメントモルタル充填	
③	巾木：コケシ打ち放し仕上げ	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修	欠損（浅い欠損30mm以下）	モルタル浮き部（0.25m以下）	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	
④	外壁タイル張り：小口平タイル（縦張り）	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修	モルタル浮き部（0.25m以上）	補修済部	アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	
⑤	外壁タイル張り：小口平タイル（縦張り）	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修	凡例	クワック表記例	充填工法 エポキシ樹脂モルタル充填	
⑥	軒種：角軒120mmビ製 取付金物ステンレス	下地調整の上、D P塗装	下地調整の上、D P塗装（軒種に合わせる）	長さ(mm)・クワック印(mm)	(500 - 0.1) 0.1 - 0.2mm未満	シーリング工法	
⑦	縦種：V P管75 取付金物ステンレス	下地調整の上、D P塗装	下地調整の上、D P塗装（軒種に合わせる）	(500 - 0.3) 0.2 - 1.0mm以下	(500 - 1.2) 1.0mm以上	樹脂注入工法	
⑧	笠木：防水モルタルコテ磨き	下地調整の上、ウレタン塗膜防水	下地調整の上、ウレタン塗膜防水			Uカット・シリル材充填工法	
⑨	外壁目地切り：ポリサルファイドシーリング 20*15	目地シーリング再充填工法 ポリサルファイド系シーリング20*15	目地シーリング再充填工法 ポリサルファイド系シーリング20*15				
⑩	バルコニー：75mm厚、石綿セメント板厚5.0mm V P塗装	既存隔板石綿セメント板下地調整の上、D P塗装（両面）、新設避難ステッカー	既存隔板石綿セメント板下地調整の上、D P塗装（両面）、新設避難ステッカー				



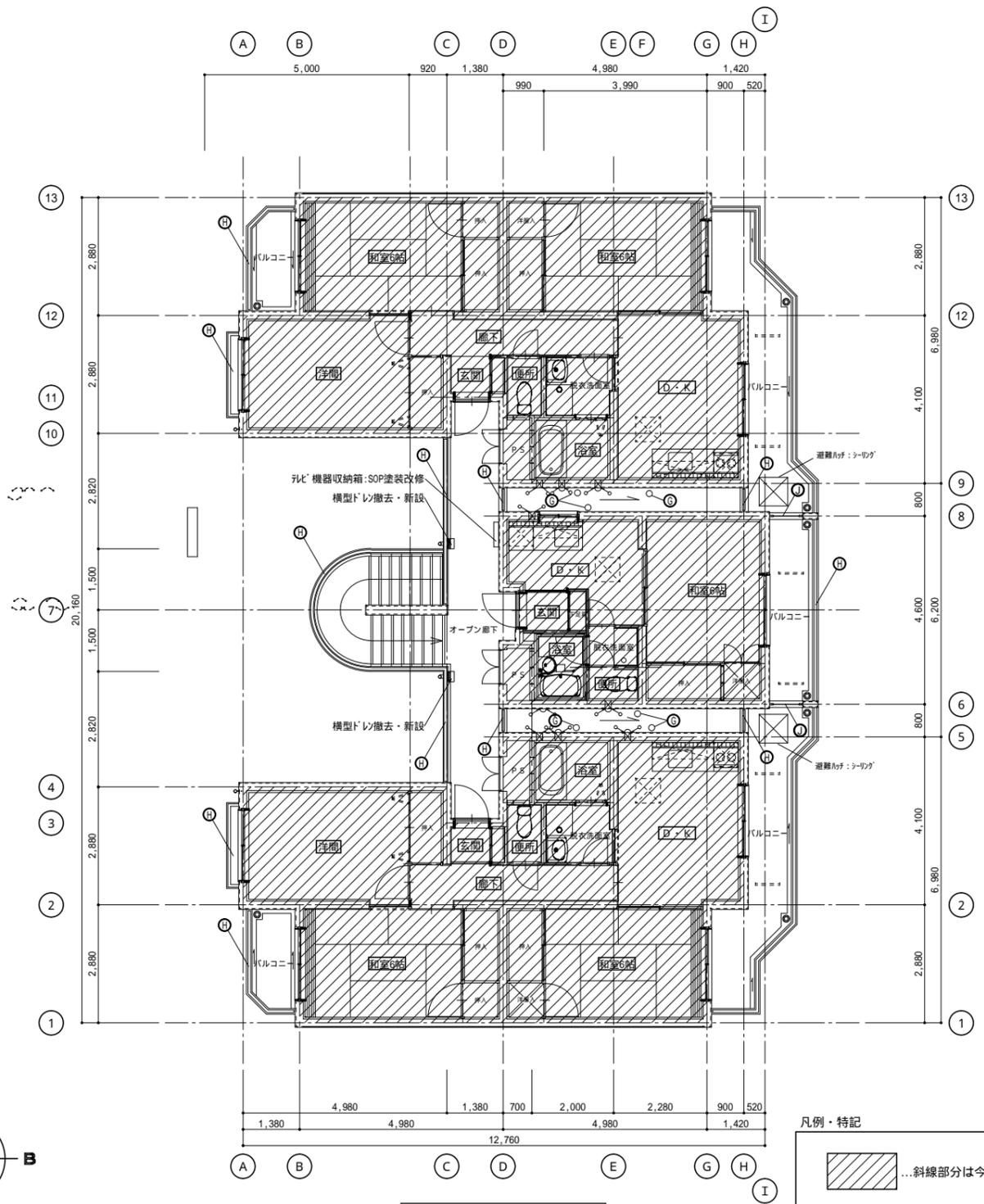
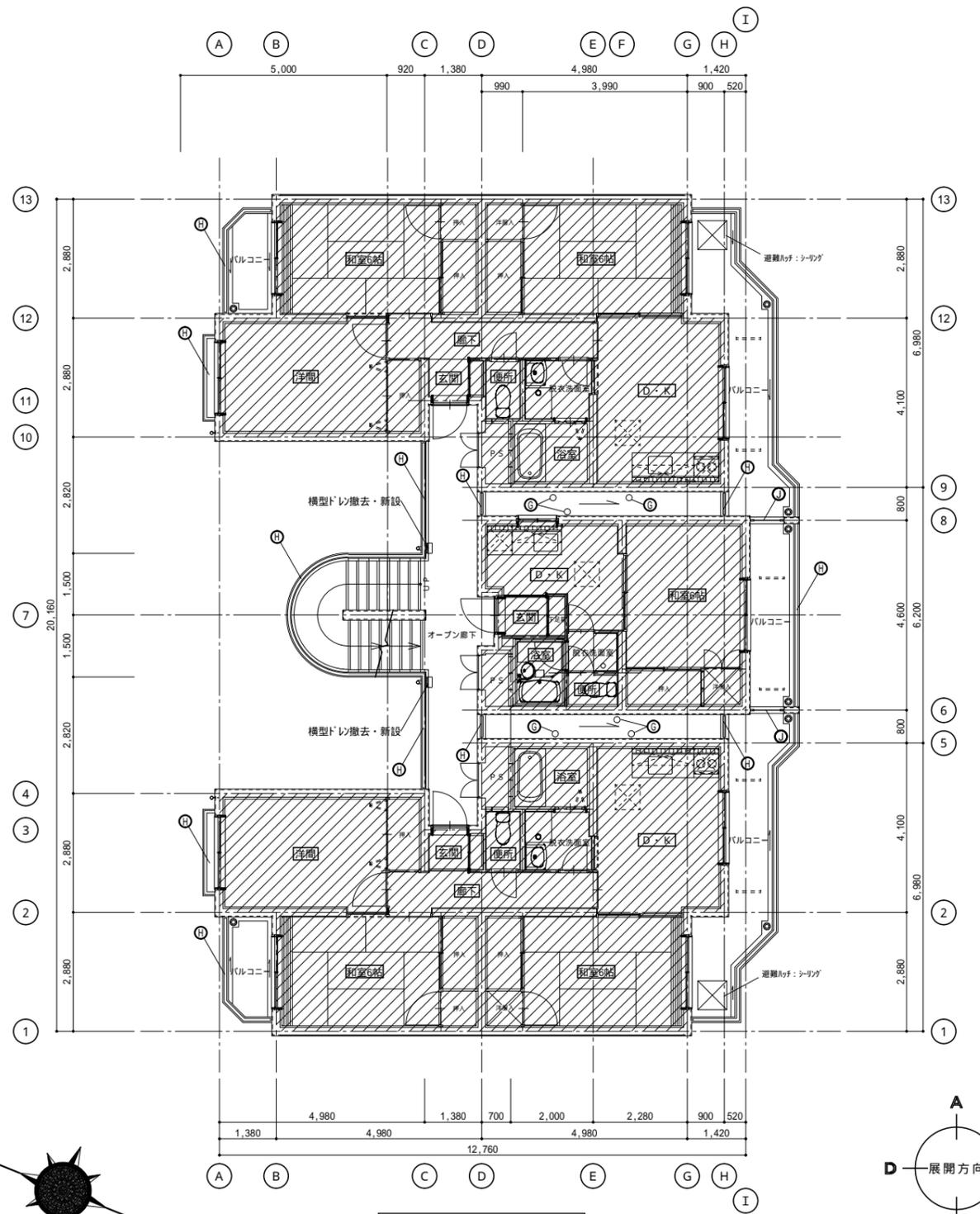
凡例・特記

...斜線部分は今回工事範囲外とする。

オープン廊下、バルコニーの床は水洗いとする。

徳島県土木整備部管轄課	工事名 R2 営繕 中吉野職員住宅 徳・中吉野 B棟外壁改修他工事	図面番号 A-05	一級建築士事務所 創和建築設計
	図面名 平面図1 (1・2階)	縮尺 1/100	徳島県知事登録 第61073号 Tel: 088-642-5062 一級建築士大臣登録 第90948号 鎌田 好康 Fax: 088-642-4257

既設面		改修概要		工事概要		改修概要	
① 屋根: アスベスト瓦 (モラル程度) 屋根下地: アスファルトフィング 22kg、スチール厚40mm		水洗いのみ (破損が大きい箇所は現場監督員、管理者で協議すること)		欠損 (鉄筋露出部)		鉄筋防錆塗、充填工法 エポキシ樹脂モルタル充填	
② 外壁: コーキング打ち放しの上吹き付けタイル		水洗い工法・既存仕上げ面 破れ、膨れ部分は除去後水洗いの上、下地調整材で平滑に仕上げ、防水系複層塗材 EPO-塗り		欠損 (浅い欠損30mm以下)		充填工法 ポリマーセメントモルタル充填	
③ 巾木: コーキング打ち放し仕上げ		水洗い工法・下地面 (ひび割れ、爆裂、欠損、浮き) 改修 西・北面のみEP塗り		モルタル浮き部 (0.25㎡未満)		アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	
④ 外壁タイル張り: 小口平タイル (横張り)		水洗い工法・下地面 (ひび割れ、爆裂、欠損、浮き) 改修		モルタル浮き部 (0.25㎡以上)		アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	
⑤ 外壁タイル張り: 小口平タイル (縦張り)		水洗い工法・下地面 (ひび割れ、爆裂、欠損、浮き) 改修		補修済部		充填工法 エポキシ樹脂モルタル充填	
⑥ 軒種: 角軒120塩ビ製 取付金物ステンレス		下地調整の上、D P塗装		凡例	クワック表記例		改修概要
⑦ 縦種: V P管75 取付金物ステンレス		下地調整の上、D P塗装 (軒種に合わせる)		長さ (mm) - クワック印 (mm)	(500 - 0.1) 0.1 - 0.2mm未満	シール工法	
⑧ 笠木: 防水モルタルコテ磨き		下地調整の上、ウレタン塗膜防水		(500 - 0.3) 0.2 - 1.0mm以下		樹脂注入工法	
⑨ 外壁目地切り: ポリサルファイドシーリング 20*15		目地シーリング再充填工法 ポリサルファイド系シーリング20*15		(500 - 1.2) 1.0mm以上		Uカットシール材充填工法	
⑩ パネル: 75*125、石綿セメント板厚5.0mm V P塗装		既存隔板石綿セメント板下地調整の上、D P塗装 (両面)、新設避難ステッカー					



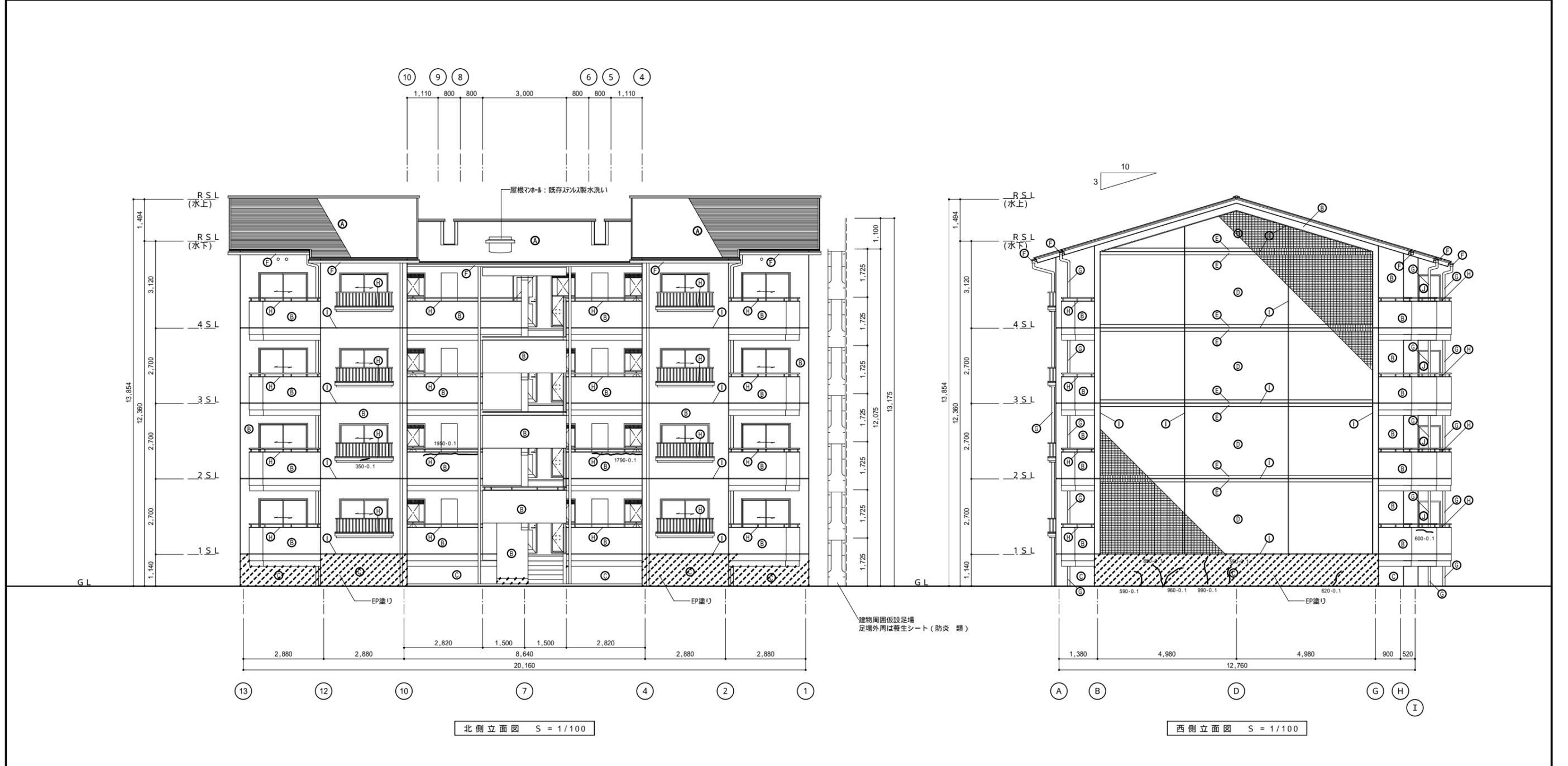
凡例・特記

...斜線部分は今回工事範囲外とする。

オープン廊下、バルコニーの床は水洗いすること。

徳島県土木整備部管轄課	工事名 R2 岩嶺 中吉野職員住宅 徳・中吉野 B棟外壁改修他工事	図面番号 A-06	一級建築士事務所 創和建築設計
	図面名 平面図2 (3・4階)	縮尺 1/100	徳島県知事登録 第61073号 Tel: 088-642-5062 一級建築士大臣登録 第90948号 鎌田 好康 Fax: 088-642-4257

既設面		改修概要		工事概要		現況破損部分 状況		改修概要	
①	屋根：アスベスト瓦（モラルーフ程度）屋根下地：アスファルトフィング 22kg、スチール厚40mm	水洗いのみ（破損が大きい箇所は現場監督員、管理者で協議すること）		①	欠損（鉄筋露出部）	鉄筋防錆塗、充填工法 エポキシ樹脂モルタル充填			
②	外壁：エコー打ち出しの上吹き付けタイル	水洗い工法・既存仕上げ面 破れ、膨れ部分は除去後水洗いの上、下地調整材で平滑に仕上げ、防水系複層塗材E0-3塗り		②	欠損（浅い欠損30mm以下）	充填工法 ポリマーセメントモルタル充填			
③	巾木：エコー打ち出し仕上げ	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修 西・北面のみEP塗り		③	モルタル浮き部（0.25㎡未満）	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法			
④	外壁タイル張り：小口平タイル（横張り）	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修		④	モルタル浮き部（0.25㎡以上）	アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法			
⑤	外壁タイル張り：小口平タイル（縦張り）	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修		⑤	補修済部	充填工法 エポキシ樹脂モルタル充填			
⑥	軒：角軒120塩ビ製 取付金物ステンレス	下地調整の上、D P塗装		凡例				改修概要	
⑦	縦種：V P管75 取付金物ステンレス	下地調整の上、D P塗装（軒種に合わせる）		長さ(mm)	割付表記例			シール工法 北側総長L=4.09+ (4.09×0.7×3層)=12.679m 西側総長L=5.16+ (5.16×0.7×3層) = 15.996m	
⑧	笠木：防水モルタルコテ磨き	下地調整の上、ウレタン塗膜防水		(500 - 0.1)	0.1 - 0.2mm未満			樹脂注入工法	
⑨	外壁目地切り：ポリサルファイドシーリング 20*15	目地シーリング再充填工法 ポリサルファイド系シーリング20*15		(500 - 0.3)	0.2 - 1.0mm以下			Uカットシール材充填工法	
⑩	バルコニー：75塩ビ、石綿セメント板厚5.0mm V P塗装	既存隔板石綿セメント板下地調整の上、D P塗装（両面）、新設避難ステッカー		(500 - 1.2)	1.0mm以上				



特記事項	現況破損状況		改修方法									
	番号	破損状況 寸法(mm) W×H										

外壁面既存吹き付けタイルの破れ、膨れ等劣化面を除去する際は水洗いと、既存下地面にダメージを出来るだけ与えないように注意して施工すること。
 上記既存下地面に誤って大きなダメージを与えた場合は現場監督員に報告し、指示を仰ぐこと。

徳島県土木整備部管轄課

工事名 R2 岩越 中吉野職員住宅 徳・中吉野 B棟外壁改修他工事

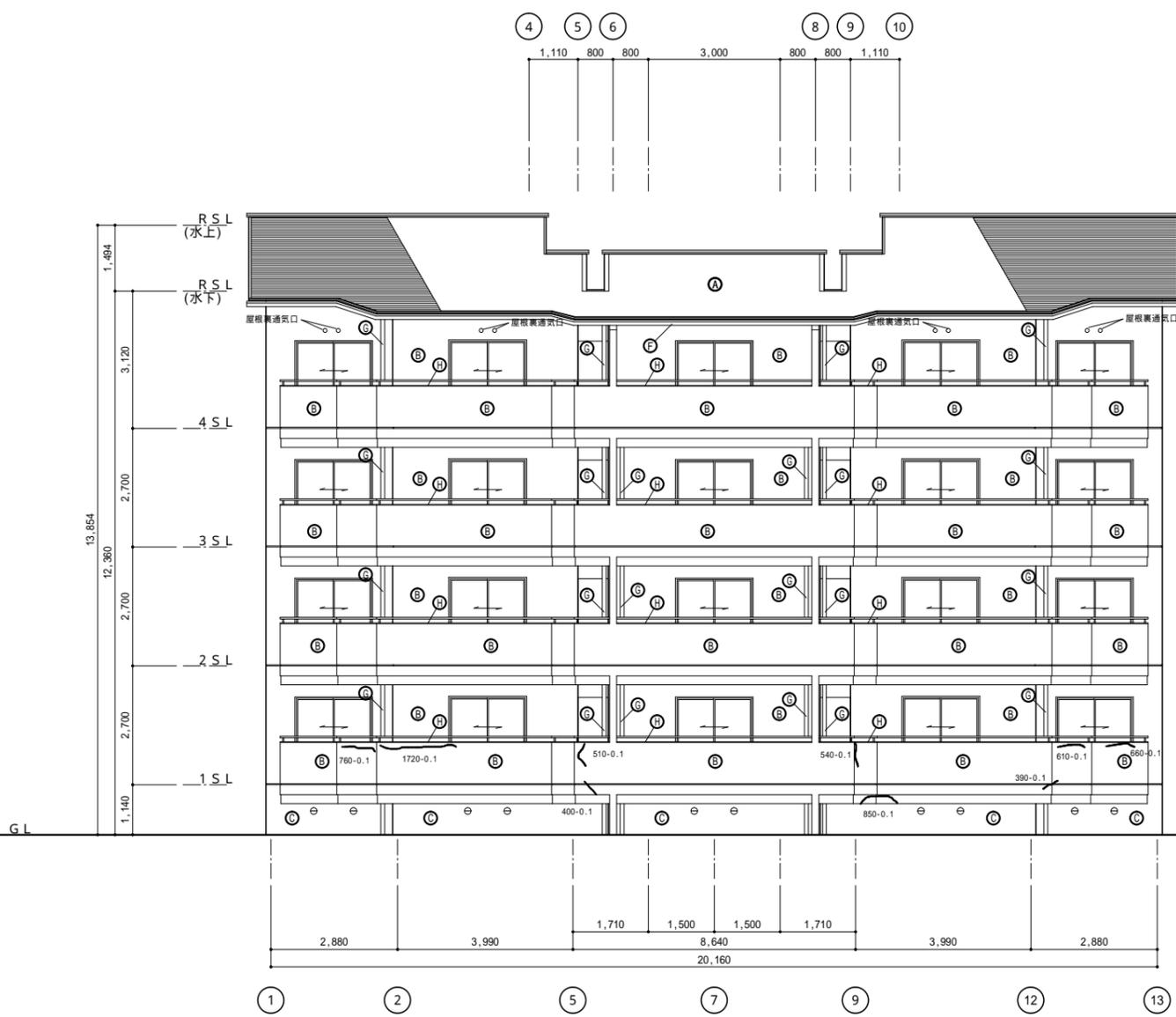
図面番号 A-07

縮尺 1/100

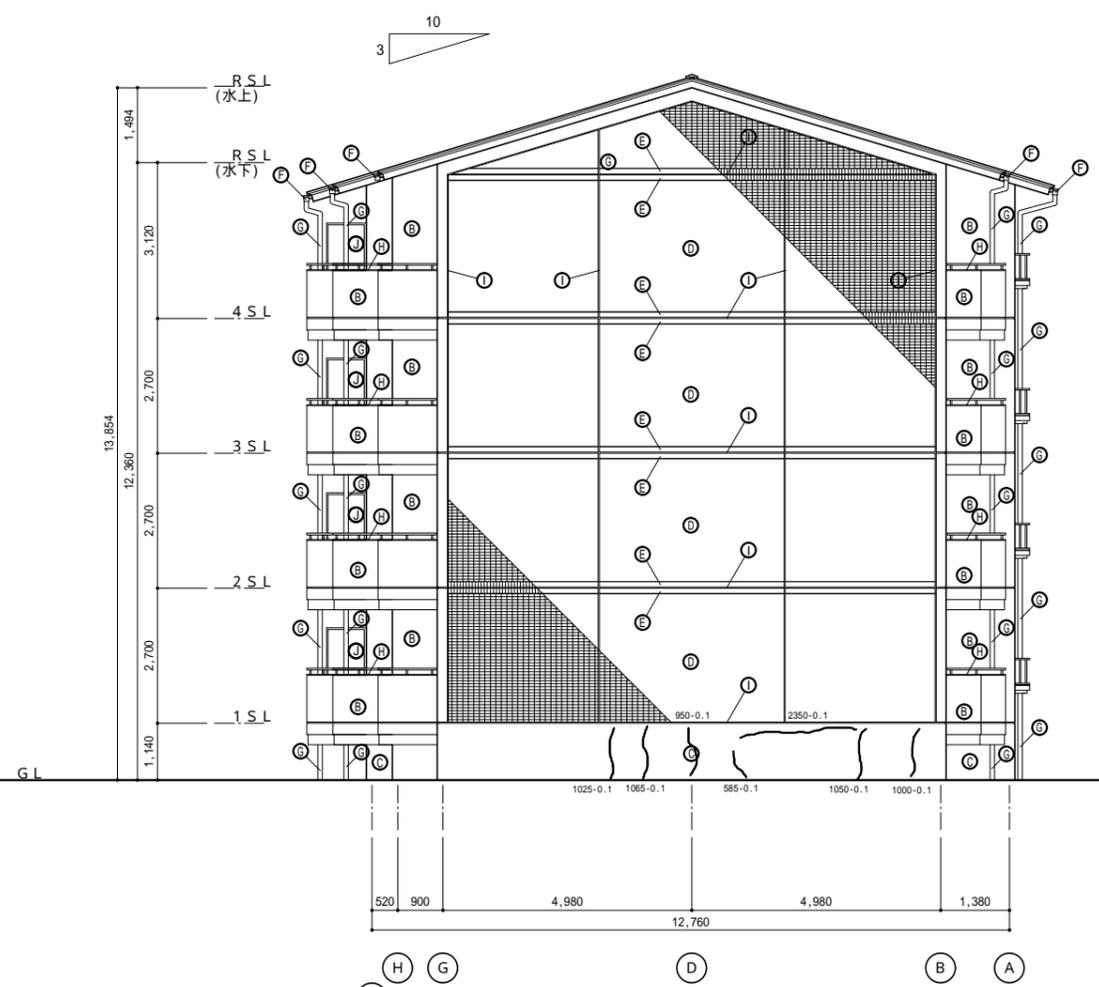
一級建築士事務所 創和建築設計

徳島県知事登録 第61073号 Tel: 088-642-5062
 一級建築士大臣登録 第90948号 鎌田 好康 Fax: 088-642-4257

既設面		改修概要		工事概要		現況破損部分 状況		改修概要	
①	屋根：アスベスト瓦（モラル-フ程度）屋根下地：アスファルトフィング 22kg、スタイロフォーム40mm	水洗いのみ（破損が大きい箇所は現場監督員、管理者で協議すること）		①	欠損（鉄筋露出部）	鉄筋防錆塗、充填工法 エポキシ樹脂モルタル充填			
②	外壁：コケシ打ち放しの上吹き付けタイル	水洗い工法・既存仕上げ面 破れ、膨れ部分は除去後水洗いの上、下地調整材で平滑に仕上げ、防水系複層塗材E0-3塗り		②	欠損（浅い欠損30mm以下）	充填工法 ポリマーセメントモルタル充填			
③	巾木：コケシ打ち放し仕上げ	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修 西・北面のみEP塗り		③	モルタル浮き部（0.25㎡未満）	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法			
④	外壁タイル張り：小口平タイル（横張り）	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修		④	モルタル浮き部（0.25㎡以上）	アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法			
⑤	外壁タイル張り：小口平タイル（縦張り）	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修		⑤	補修済部	充填工法 エポキシ樹脂モルタル充填			
⑥	軒：角軒120塩ビ製 取付金物ステンレス	下地調整の上、D P塗装		凡例				改修概要	
⑦	縦：V P管75 取付金物ステンレス	下地調整の上、D P塗装（軒種に合わせる）		長さ(mm)・クワック巾(mm)	クワック表記例			シーリング工法 南側総長L=6.44 + (6.44 × 0.7 × 3層) = 19.964m 西側総長L=8.025 + (8.025 × 0.7 × 3層) = 24.8775m	
⑧	笠木：防水モルタルコテ磨き	下地調整の上、ウレタン塗膜防水		(500 - 0.1)	0.1 - 0.2mm未満			樹脂注入工法	
⑨	外壁目地切り：ポリサルファイドシーリング 20*15	目地シーリング再充填工法 ポリサルファイド系シーリング20*15		(500 - 0.3)	0.2 - 1.0mm以下			Uカットシール材充填工法	
⑩	バルコニー：75塩ビ、石綿セメント板厚5.0mm V P塗装	既存隔板石綿セメント板下地調整の上、D P塗装（両面）、新設避難ステッカー		(500 - 1.2)	1.0mm以上				



南側立面図 S = 1/100

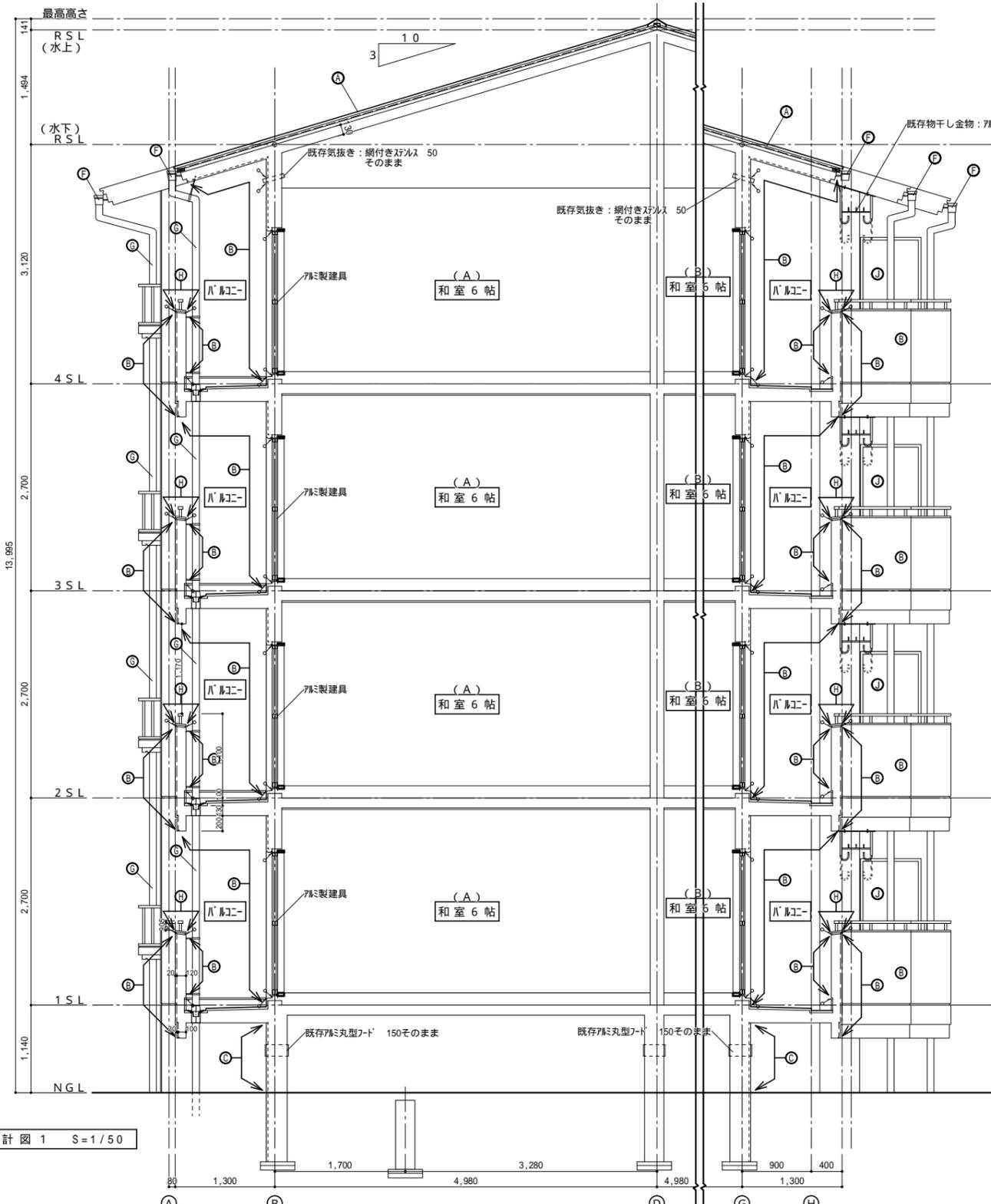


東側立面図 S = 1/100

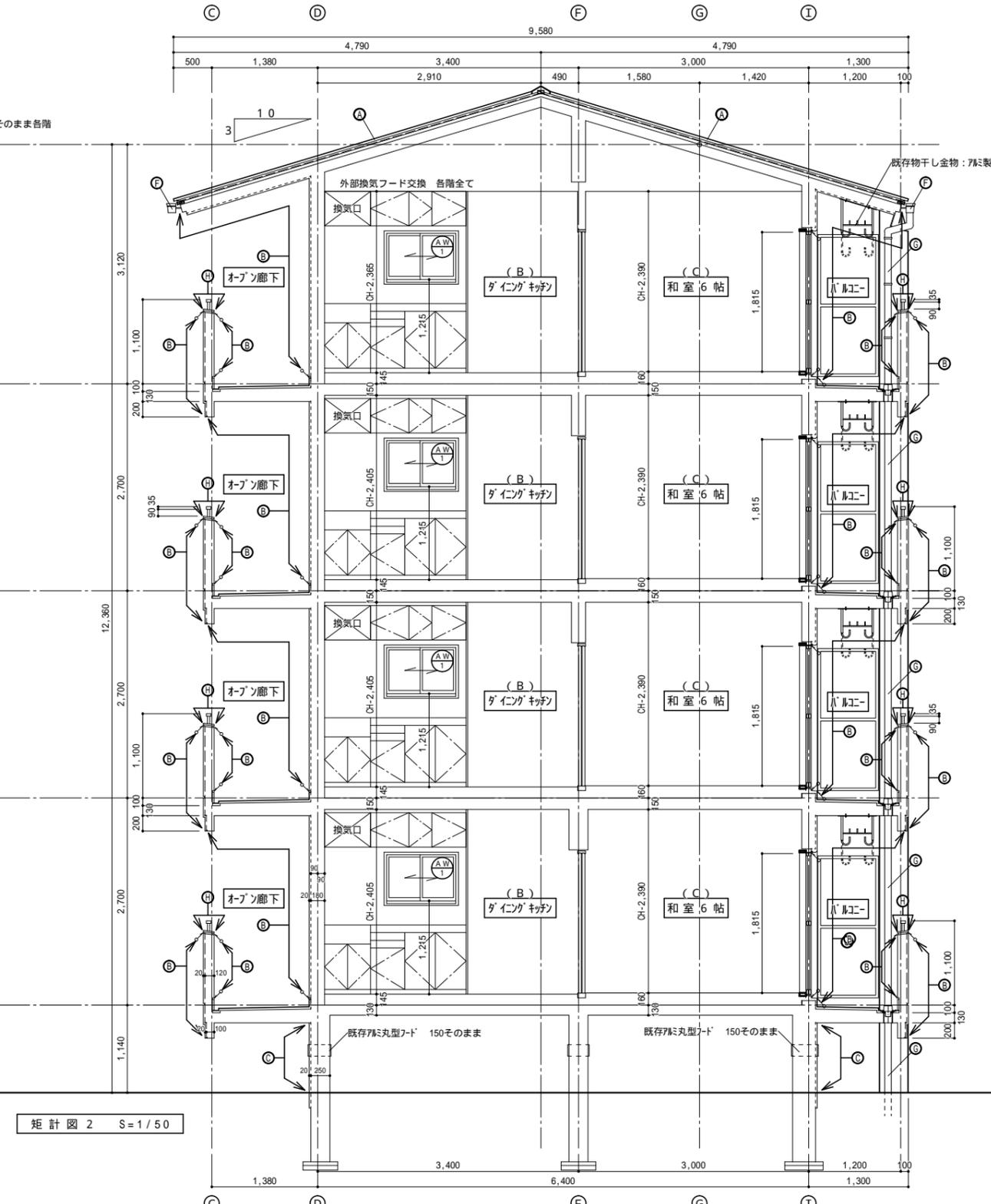
特記事項	現況破損状況		改修方法									
	番号	破損状況 寸法(mm) W×H										

徳島県土木整備部 管轄課	工事名 R2 岩越 中吉野職員住宅 徳・中吉野 B棟外壁改修他工事	図面番号 A-08	一級建築士事務所 創和建築設計
	図面名 立面図2 (南・東)	縮尺 1/100	徳島県知事登録 第61073号 Tel: 088-642-5062 一級建築士大臣登録 第90948号 鎌田 好康 Fax: 088-642-4257

既設面		改修概要		工事概要		改修概要	
①	屋根：アスベスト瓦（モラル程度）屋根下地：75kg/㎡フック 22kg、スチール厚40mm	水洗いのみ（破損が大きい箇所は現場監督員、管理者で協議すること）		欠損（鉄筋露出部）	鉄筋防錆塗、充填工法 エポキシ樹脂モルタル充填		
②	外壁：ユークラチ打ち放しの上吹き付けタイル	水洗い工法・既存仕上げ面 破れ、膨れ部分は除去後水洗いの上、下地調整材で平滑に仕上げ、防水系複層塗材E0-ラ塗り		欠損（浅い欠損30mm以下）	充填工法 ポリマーセメントモルタル充填		
③	巾木：ユークラチ打ち放し仕上げ	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修 西・北面のみEP塗り		モルタル浮き部（0.25㎡未満）	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法		
④	外壁タイル張り：小口平タイル（縦張り）	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修		モルタル浮き部（0.25㎡以上）	アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法		
⑤	外壁タイル張り：小口平タイル（縦張り）	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修		補修済部	充填工法 エポキシ樹脂モルタル充填		
⑥	軒種：角軒120mmヒ製 取付金物ステンレス	下地調整の上、D P塗装		凡例			改修概要
⑦	縦種：V P管75 取付金物ステンレス	下地調整の上、D P塗装（軒種に合わせる）		長さ(mm)・クワ幅(mm)	クワ幅表記例		
⑧	笠木：防水モルタルコテ磨き	下地調整の上、ウレタン塗膜防水		(500 - 0.1)	0.1 - 0.2mm未満		シール工法
⑨	外壁目地切り：ポリサルファイドシーリング 20*15	目地シーリング再充填工法 ポリサルファイド系シーリング20*15		(500 - 0.3)	0.2 - 1.0mm以下		樹脂注入工法
⑩	バルコニー：75kg、石綿セメント板厚5.0mm V P塗装	既存隔板石綿セメント板下地調整の上、D P塗装（両面）、新設避難ステッカー		(500 - 1.2)	1.0mmを越える		Uカットシール材充填工法

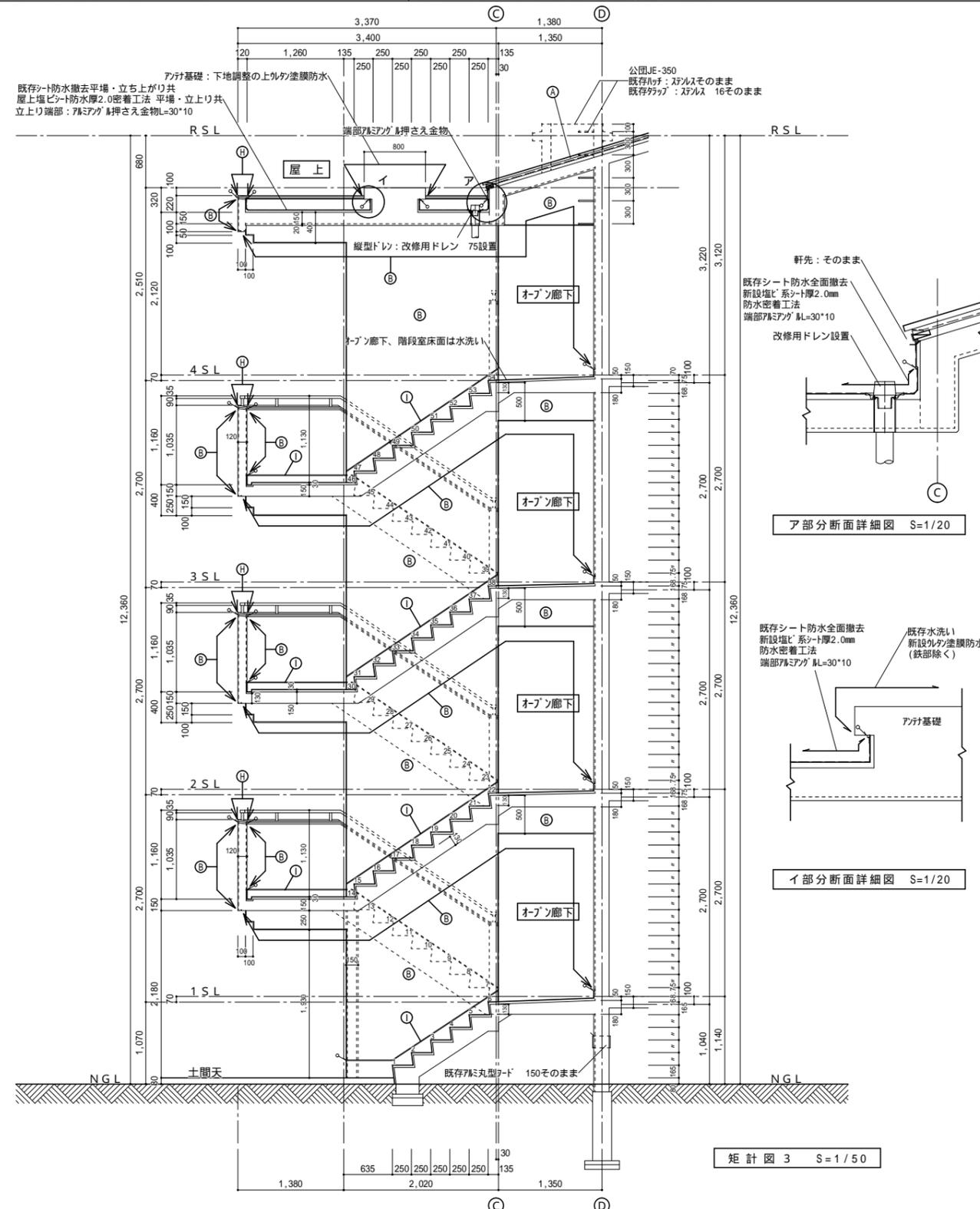


矩計図 1 S=1/50

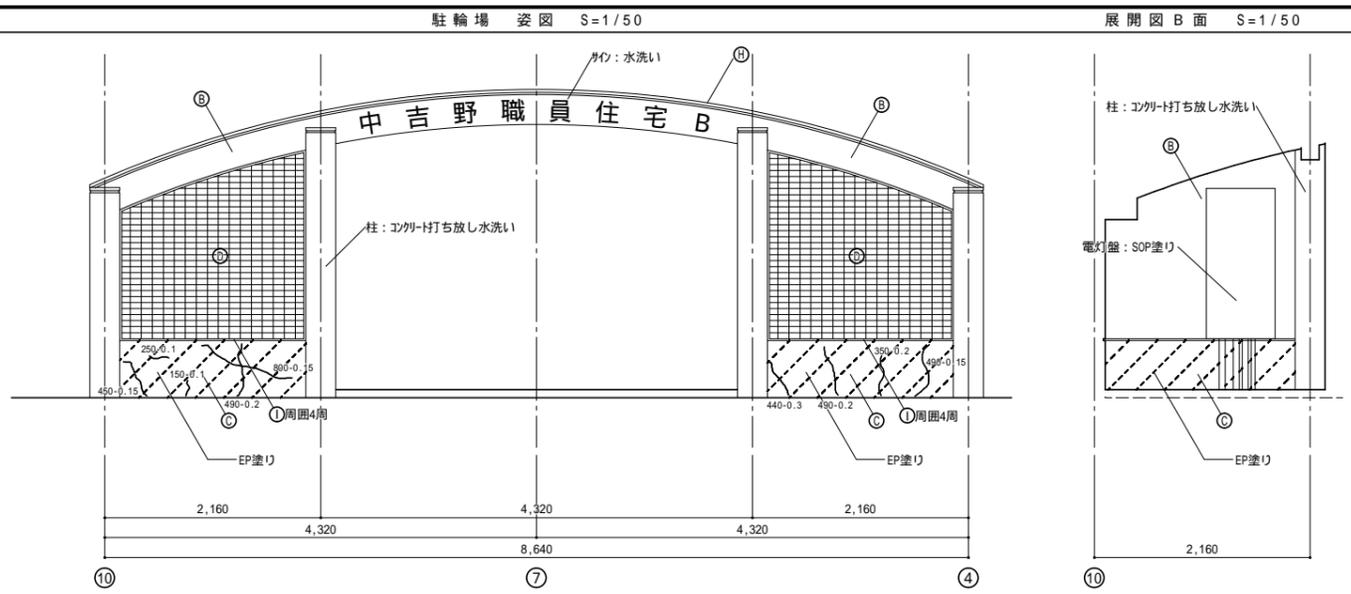


矩計図 2 S=1/50

凡例番号	既設面	工事概要	改修概要
Ⓐ	屋根：アスベスト瓦（モラル程度）屋根下地：アスファルトフィング 22kg、スチール厚40mm	水洗いのみ（破損が大きい箇所は現場監督員、管理者で協議すること）	
Ⓑ	外壁：コクリト打ち放しの上吹き付けタイル	水洗い工法・既存仕上げ面 破れ、曇れ部分は除去後水洗いの上、下地調整材で平滑に仕上げ、防水系複層塗材Eロ-塗	
Ⓒ	巾木：コクリト打ち放し仕上げ	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修 西・北面のみEP塗り	
Ⓓ	外壁タイル張り：小口平タイル（横張り）	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修	
Ⓔ	外壁タイル張り：小口平タイル（縦張り）	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修	
Ⓕ	軒種：角軒120塩ビ製 取付金物ステンレス	下地調整の上、D P 塗装	
Ⓖ	縦種：V P 管75 取付金物ステンレス	下地調整の上、D P 塗装（軒種に合わせる）	
Ⓗ	笠木：防水モルタルコテ磨き	下地調整の上、ウレタン塗膜防水	
Ⓙ	外壁目地切り：ポリサルファイドシーリング 20*15	目地シーリング再充填工法 ポリサルファイド系シーリング20*15	
Ⓛ	パネル：75*120塩ビ製、石綿セメント板厚5.0mm V P 塗装	既存隔板石綿セメント板下地調整の上、D P 塗装（両面）、新設避難ステッカー	

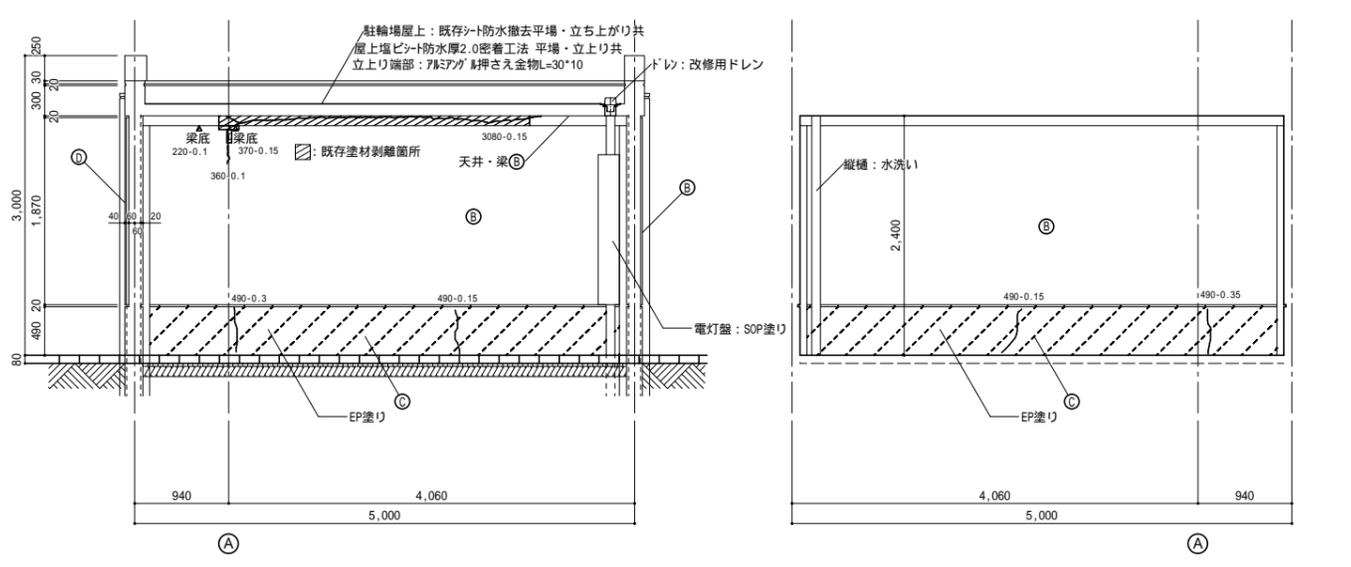


矩計図 3 S=1/50



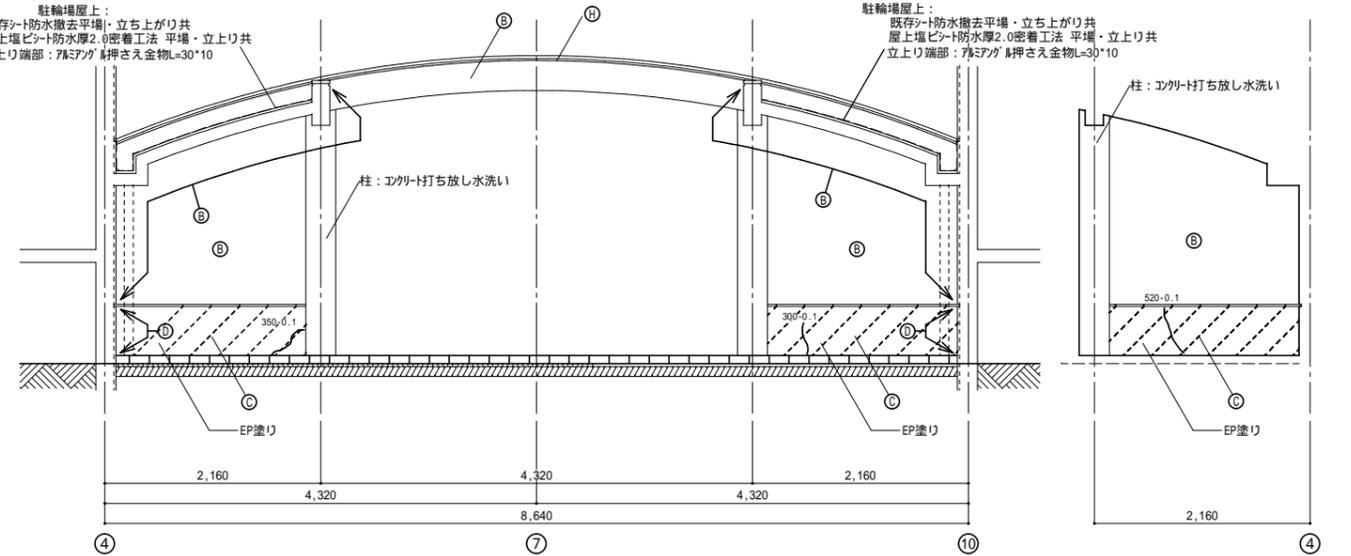
駐輪場 矩計図・展開図 A面 S=1/50

展開図 C面 S=1/50



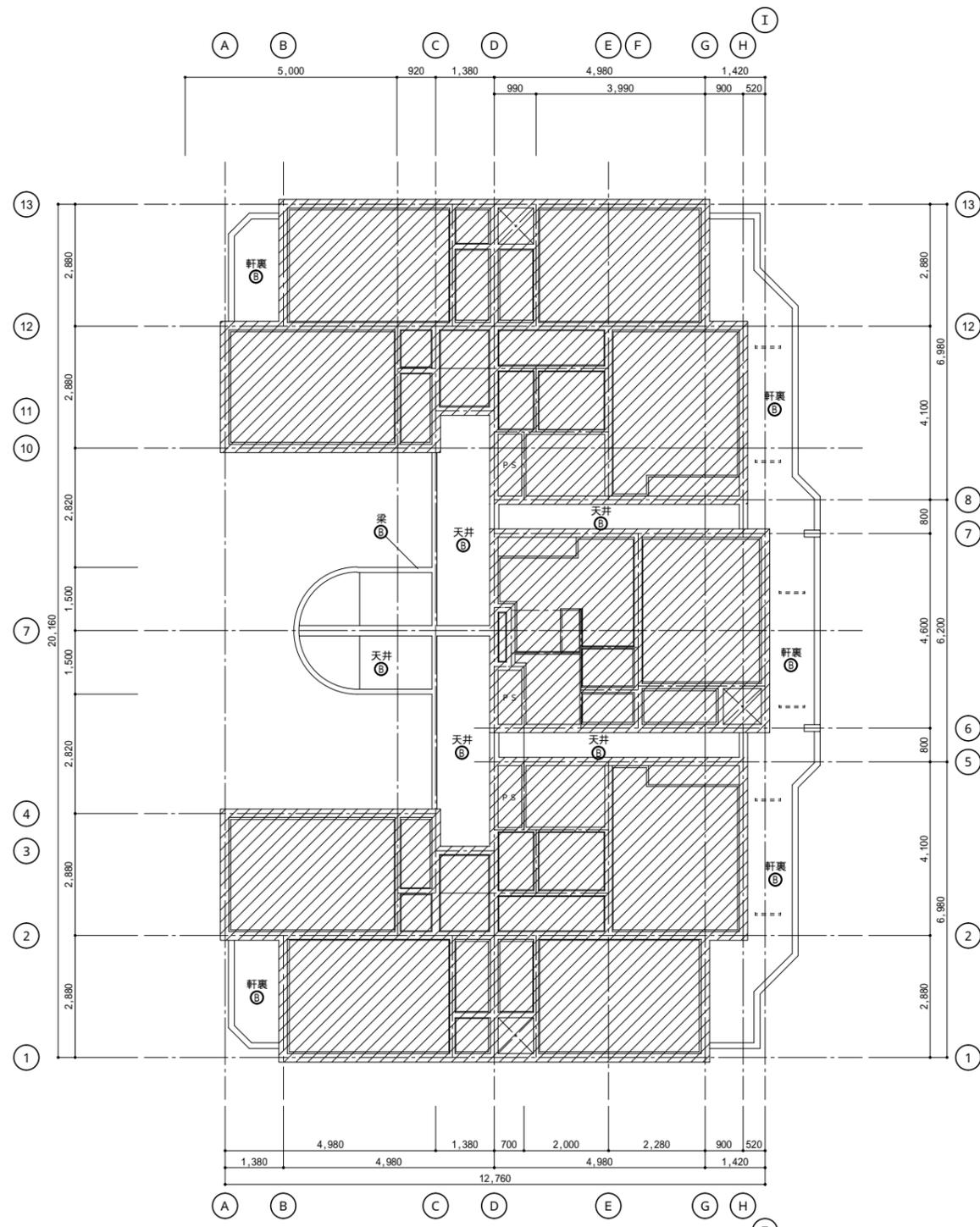
駐輪場 矩計図・展開図 D面 S=1/50

展開図 B面 S=1/50

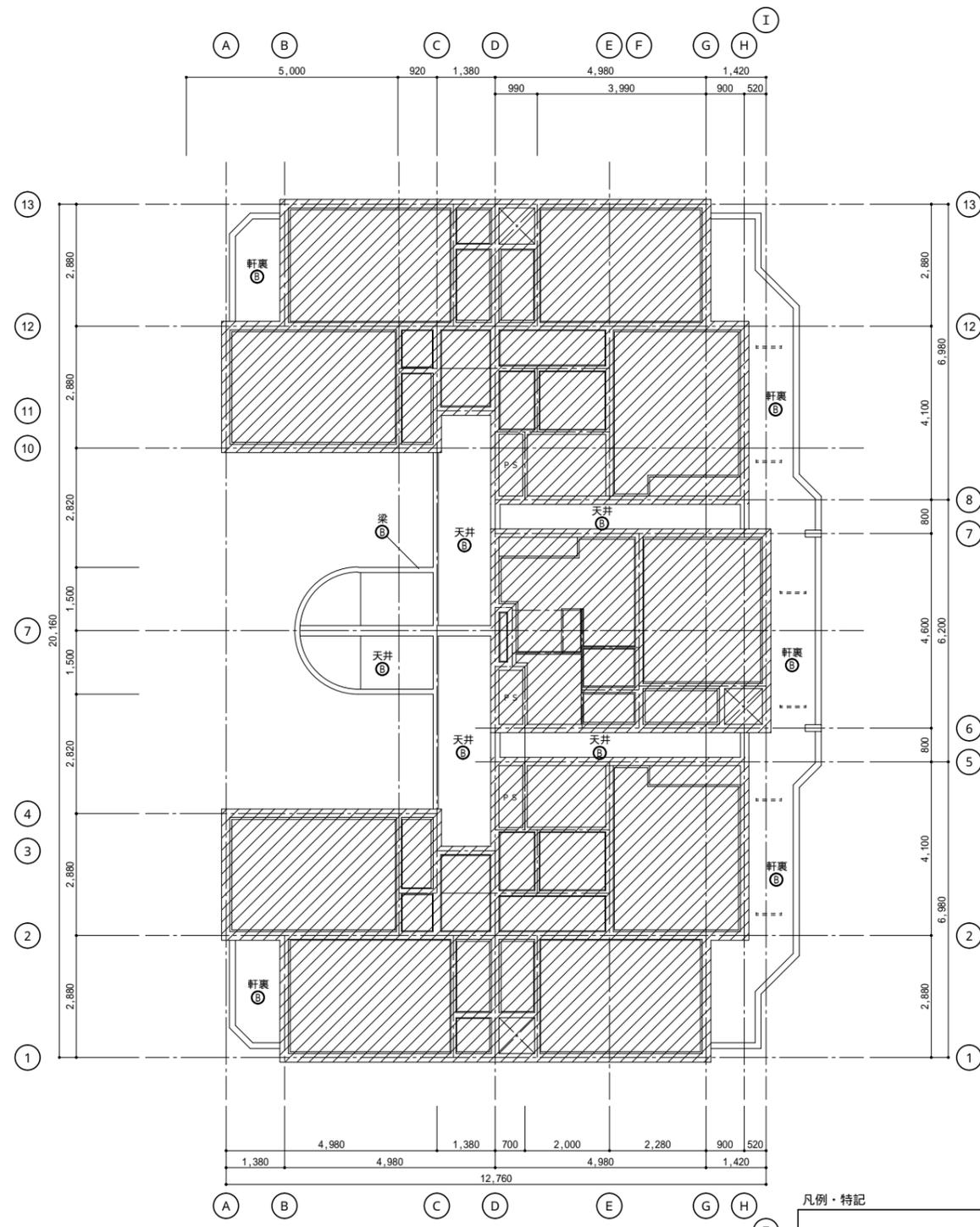


徳島県土木整備部管轄課	工事名 R2 営繕 中吉野職員住宅 徳・中吉野 B棟外壁改修他工事	図面番号 A-10	一級建築士事務所 創和建築設計
	図面名 矩計図2	縮尺 1/50	徳島県知事登録 第61073号 Tel: 088-642-5062 一級建築士大臣登録 第90948号 鎌田 好康 Fax: 088-642-4257

既設面		改修概要		工事概要		改修概要	
①	屋根：アスベスト瓦（モラル-フ程度）屋根下地：アスファルトフィング 22kg、スチール厚40mm	水洗いのみ（破損が大きい箇所は現場監督員、管理者で協議すること）		欠損（鉄筋露出部）	鉄筋防錆塗、充填工法 エポキシ樹脂モルタル充填		
②	外壁：エコー打ち放しの上吹き付けタイル	水洗い工法・既存仕上げ面 破れ、膨れ部分は除去後水洗いの上、下地調整材で平滑に仕上げ、防水系複層塗材E0-1塗り		欠損（浅い欠損30mm以下）	充填工法 ポリマーセメントモルタル充填		
③	巾木：エコー打ち放し仕上げ	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修 西・北面のみEP塗り		モルタル浮き部（0.25㎡未満）	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法		
④	外壁タイル張り：小口平タイル（横張り）	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修		モルタル浮き部（0.25㎡以上）	アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法		
⑤	外壁タイル張り：小口平タイル（縦張り）	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修		補修済部	充填工法 エポキシ樹脂モルタル充填		
⑥	軒種：角軒120塩ビ製 取付金物ステンレス	下地調整の上、D P塗装		凡例			改修概要
⑦	縦種：V P管75 取付金物ステンレス	下地調整の上、D P塗装（軒種に合わせる）		長さ(mm)-クワック巾(mm)	クワック表記例		
⑧	笠木：防水モルタルコテ磨き	下地調整の上、ウレタン塗膜防水		(500-0.1) 0.1-0.2mm未満			シーリング工法
⑨	外壁目地切り：ポリサルファイドシーリング 20*15	目地シーリング再充填工法 ポリサルファイド系シーリング20*15		(500-0.3) 0.2-1.0mm以下			樹脂注入工法
⑩	バルコニー：75*75、石綿セメント板厚5.0mm V P塗装	既存隔板石綿セメント板下地調整の上、D P塗装（両面）、新設避難ステッカー		(500-1.2) 1.0mm以上			Uカットシール材充填工法



1階天井伏図 S = 1/100

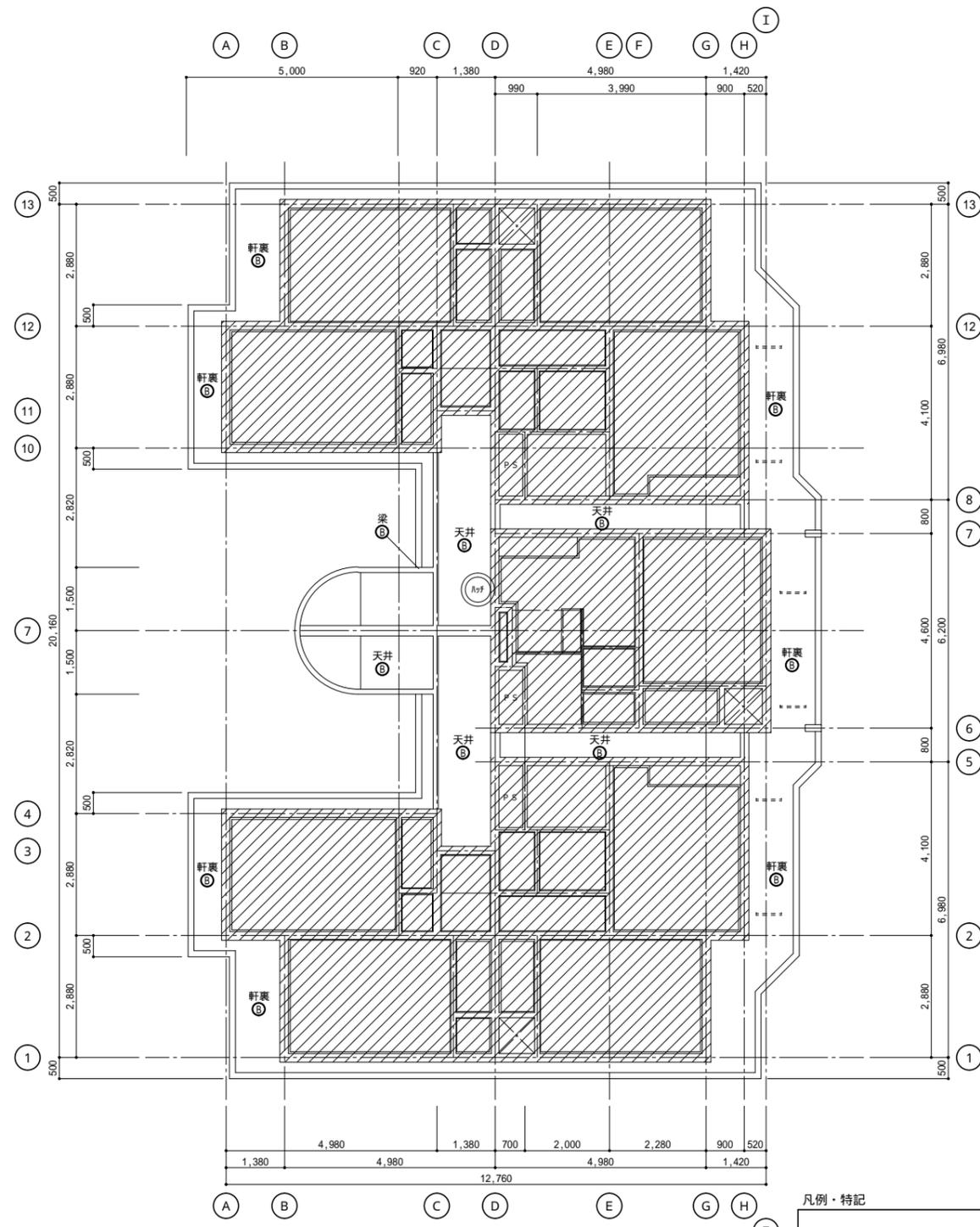
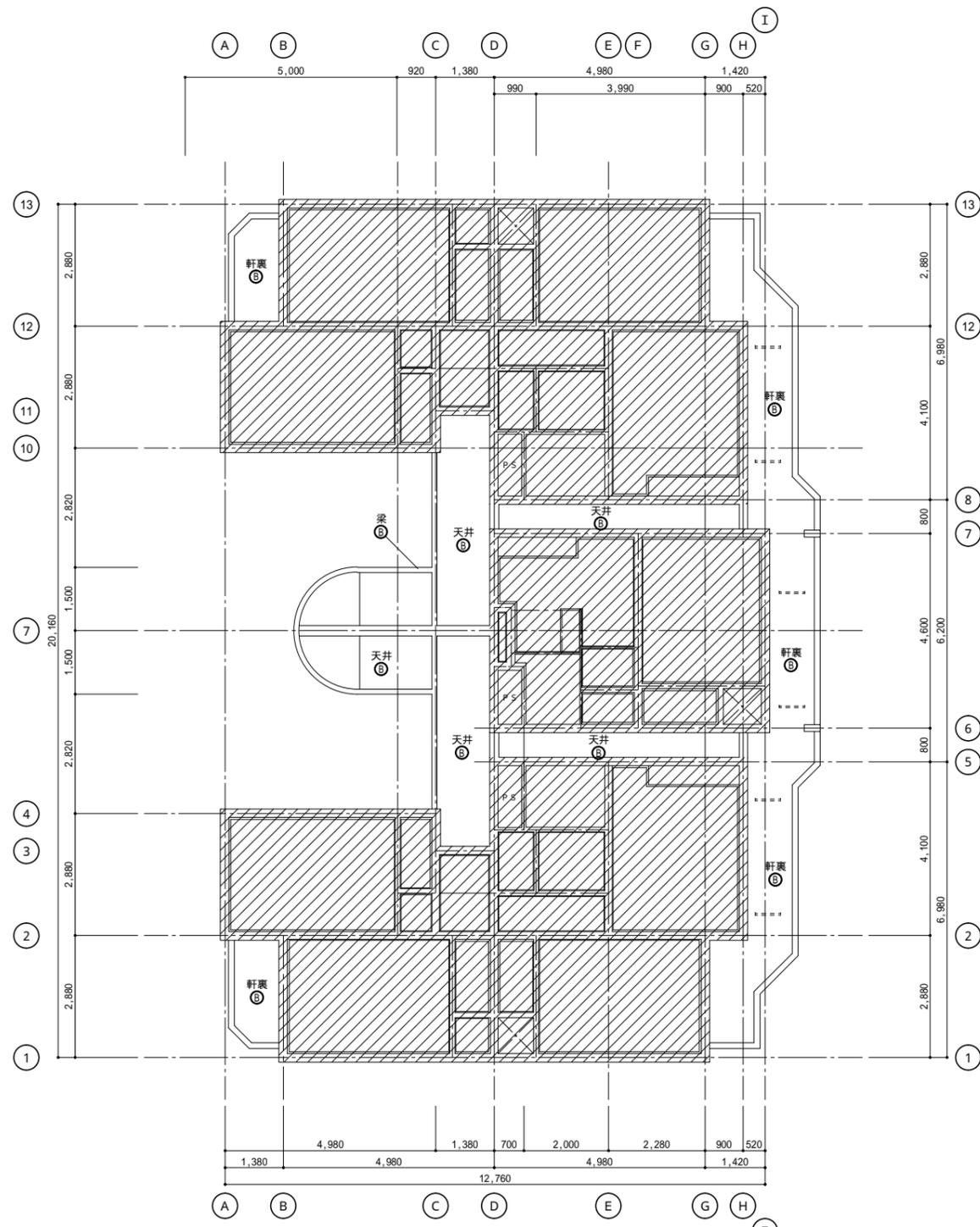


2階天井伏図 S = 1/100

凡例・特記
 ...斜線部分は今回工事範囲外とする。

徳島県土木整備部管轄課	工事名 R2 営繕 中吉野職員住宅 徳・中吉野 B棟外壁改修他工事	図面番号 A-11	一級建築士事務所 創和建築設計
	図面名 天井伏図1 (1・2階)	縮尺 1/100	徳島県知事登録 第61073号 Tel: 088-642-5062 一級建築士大臣登録 第90948号 鎌田 好康 Fax: 088-642-4257

既設面		改修概要		工事概要		改修概要	
①	屋根：アスベスト瓦（モラル-フ程度）屋根下地：アスファルトフィング 22kg、スチール厚40mm	水洗いのみ（破損が大きい箇所は現場監督員、管理者で協議すること）		欠損（鉄筋露出部）	鉄筋防錆塗、充填工法 エポキシ樹脂モルタル充填		
②	外壁：エコー打ち放しの上吹き付けタイル	水洗い工法・既存仕上げ面 破れ、膨れ部分は除去後水洗いの上、下地調整材で平滑に仕上げ、防水系複層塗材E0-ラ塗り		欠損（浅い欠損30mm以下）	充填工法 ポリマーセメントモルタル充填		
③	巾木：エコー打ち放し仕上げ	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修 西・北面のみEP塗り		モルタル浮き部（0.25㎡未満）	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法		
④	外壁タイル張り：小口平タイル（横張り）	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修		モルタル浮き部（0.25㎡以上）	アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法		
⑤	外壁タイル張り：小口平タイル（縦張り）	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修		補修済部	充填工法 エポキシ樹脂モルタル充填		
⑥	軒種：角軒120塩ビ製 取付金物ステンレス	下地調整の上、D P塗装		凡例			改修概要
⑦	縦種：V P管75 取付金物ステンレス	下地調整の上、D P塗装（軒種に合わせる）		長さ(mm)・クワック巾(mm)	クワック表記例		
⑧	笠木：防水モルタルコテ磨き	下地調整の上、ウレタン塗膜防水		(500 - 0.1)	0.1 - 0.2mm未満		シーリング工法
⑨	外壁目地切り：ポリサルファイドシーリング 20*15	目地シーリング再充填工法 ポリサルファイド系シーリング20*15		(500 - 0.3)	0.2 - 1.0mm以下		樹脂注入工法
⑩	バルコニー：7#2枠、石綿セメント板厚5.0mm V P塗装	既存隔板石綿セメント板下地調整の上、D P塗装（両面）、新設避難ステッカー		(500 - 1.2)	1.0mm以上		Uカットシール材充填工法

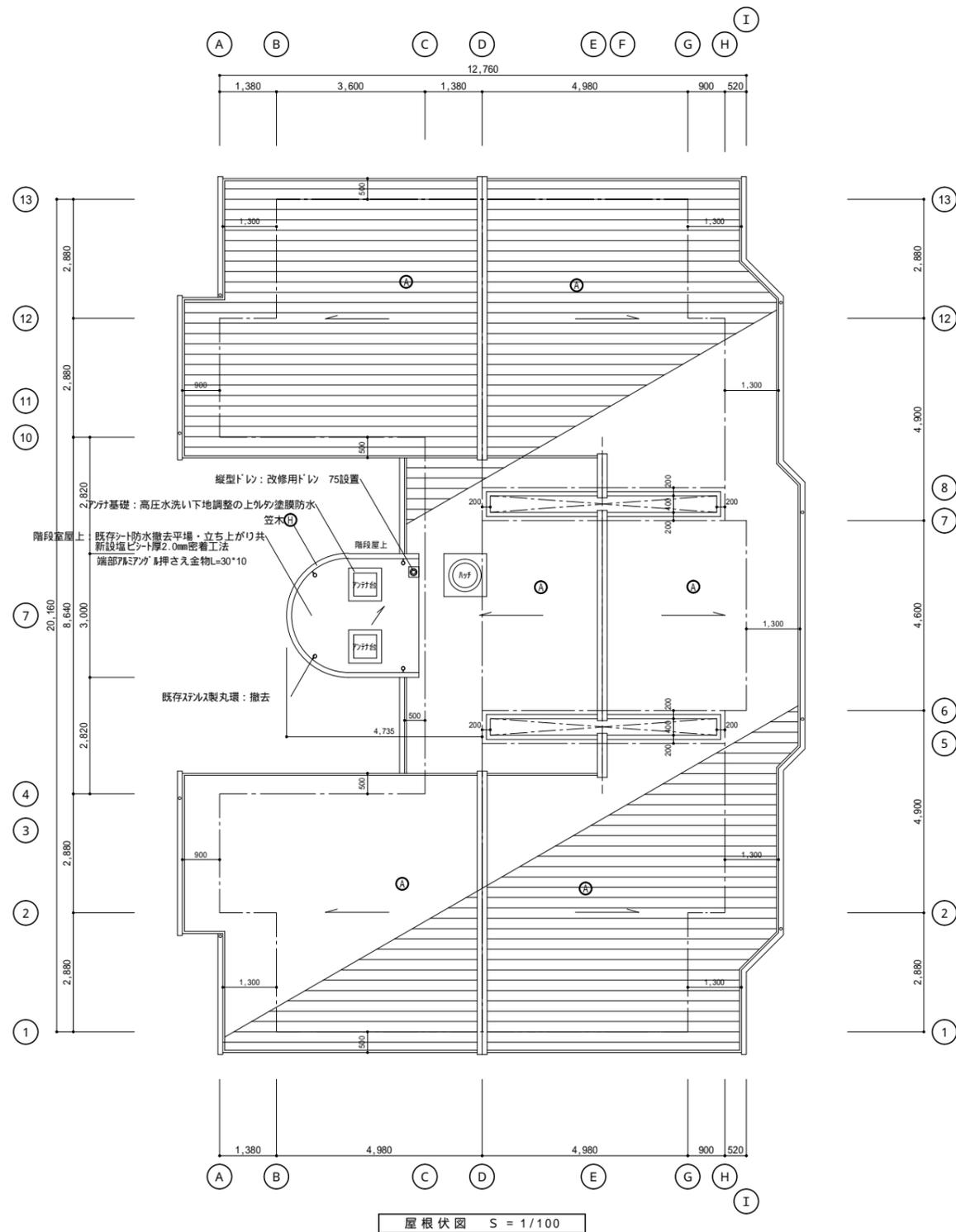


凡例・特記

...斜線部分は今回工事範囲外とする。

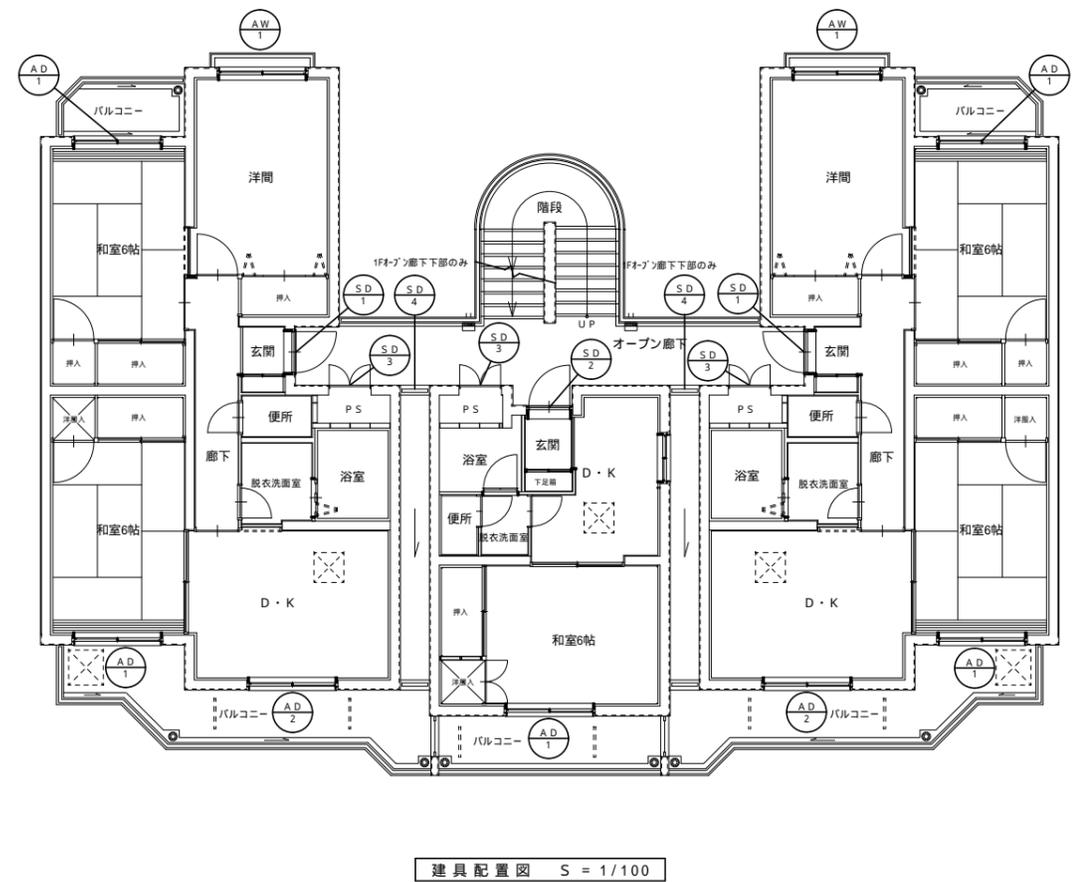
徳島県土木整備部管轄課	工事名 R2営繕 中吉野職員住宅 徳・中吉野 B棟外壁改修他工事	図面番号 A-12	一級建築士事務所 創和建築設計
	図面名 天井伏図2 (3・4階)	縮尺 1/100	徳島県知事登録 第61073号 Tel: 088-642-5062 一級建築士大臣登録 第90948号 鎌田 好康 Fax: 088-642-4257

既設面		改修概要		工事概要		現況破損部分 状況		改修概要	
①	屋根：アスベスト瓦（モラル程度）屋根下地：アスファルトフィング 22kg、スタイロフォーム厚40mm	水洗いのみ（破損が大きい箇所は現場監督員、管理者で協議すること）		①	欠損（鉄筋露出部）	鉄筋防錆塗、充填工法 エポキシ樹脂モルタル充填			
②	外壁：コケシ打ち放しの上吹き付けタイル	水洗い工法・既存仕上げ面 破れ、膨れ部分は除去後水洗いの上、下地調整材で平滑に仕上げ、防水系複層塗材E0-3塗		②	欠損（浅い欠損30mm以下）	充填工法 ポリマーセメントモルタル充填			
③	巾木：コケシ打ち放し仕上げ	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修 西・北面のみEP塗り		③	モルタル浮き部（0.25㎡未満）	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法			
④	外壁タイル張り：小口平タイル（横張り）	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修		④	モルタル浮き部（0.25㎡以上）	アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法			
⑤	外壁タイル張り：小口平タイル（縦張り）	水洗い工法・下地面（ひび割れ、爆裂、欠損、浮き）改修		⑤	補修済部	充填工法 エポキシ樹脂モルタル充填			
⑥	軒種：角軒120塩ビ製 取付金物ステンレス	下地調整の上、D P塗装		⑥	凡例				
⑦	縦種：V P管75 取付金物ステンレス	下地調整の上、D P塗装（軒種に合わせる）		⑦	長さ(mm)・クワック巾(mm)	クワック表記例			改修概要
⑧	笠木：防水モルタルコーティング	下地調整の上、ウレタン塗膜防水			(500 - 0.1)	0.1 - 0.2mm未満			シーリング工法
⑨	外壁目地切り：ポリサルファイドシーリング 20*15	目地シーリング再充填工法 ポリサルファイド系シーリング20*15			(500 - 0.3)	0.2 - 1.0mm以下			樹脂注入工法
⑩	バルコニー-隔板：75*40、石綿セメント板厚5.0mm V P塗装	既存隔板石綿セメント板下地調整の上、D P塗装（両面）、新設避難ステッカー			(500 - 1.2)	1.0mm以上			Uカットシール材充填工法



徳島県土木整備部管轄課	工事名 R2 岩越 中吉野職員住宅 徳・中吉野 B棟外壁改修他工事	図面番号 A-13	一級建築士事務所 創和建築設計 徳島市国府町花園76-3 Tel: 088-642-5062 Fax: 088-642-4257
	図面名 屋根伏図	縮尺 1/100	徳島県知事登録 第61073号 一級建築士大臣登録 第90948号 鎌田 好康

符号	形式	AD-1	引違い戸	AD-2	引違い戸	AW-1	引違い窓	AW-2	引違い窓	SD-1 SD-2	片開き戸(常閉BL製品B型)	SD-3	両開き戸
姿図 既設建具 撤去又は塗替え													
場所	数量	和室6帖	20	ダイニングキッチン	8	洋室	8	ダイニングキッチン	4	玄関	8(SD-1) 4(SD-2)	PS	12
材質		アルミ		同左		同左		アルミ		化粧鋼板(スチール工場塗装品)		スチール	
仕上													
塗装												SOP塗装	
見込	ガラス	70	上枠43mm、下型43mm、小窓70-15mm 延長部:上枠146.8mm、下網型126.8mm、小窓網146.8mm	同左	同左	同左	上枠43mm、小窓70-15mm 網146.8mm、小窓網146.8mm	70	網型43x6.8mm	80		50	網146.8mm
付属金物		付属金物一式、小窓締め BLサッシ規格品、可動網戸、ルベト1F付		同左		付属金物一式		付属金物一式 網戸		レバーハンドル錠、ドアスコブ、郵便受箱、ドアガード、ドアフィッ、 用心鎖、付属金物一式		レバーハンドル錠、付属金物一式	
備考		建具周囲コーキング再充填工法		建具周囲コーキング再充填工法		建具周囲コーキング再充填工法		建具周囲コーキング再充填工法		SOP塗替え建具障子・枠共、建具周囲コーキング再充填工法		SOP塗替え建具障子・枠共、建具周囲コーキング再充填工法	



SD-4	片開き戸
1Fオープン廊下下部	2
スチール	
SOP塗装	
80	
グレビス錠、付属金物一式	
SOP塗替え建具障子・枠共、建具周囲コーキング再充填工法	